# FS010M

## 取扱説明書

FUJISOFT

# 目次

はじめに ..... 4
ご使用いただくにあたって ..... 4
免責事項について ..... 5
お買い上げ品の確認 ..... 6
本製品を設定できる OS ..... 7
有線 LAN/無線 LAN(WLAN)接続できる OS ..... 8

安全上のご注意 ..... 9
本体、AC アダプタ、SIM カード、周辺機器共通 ..... 10
本体について ..... 12
AC アダプタについて ..... 14
SIM カードについて ..... 16
医用機器近くおよび医用機関内でのご使用について ..... 16

材質一覧 ..... 18
本体 ..... 18
4G アンテナ ..... 18
AC アダプタ ..... 18
LAN ケーブル ..... 18
取り付け金具 ..... 18
取り付けネジ ..... 18
無線 LAN(WLAN)アンテナ ..... 18

取り扱い上のご注意 ..... 19
共通のお願い ..... 19
本製品についてのお願い ..... 19
SIM カードについてのお願い ..... 20
無線 LAN(WLAN)ご利用に関するご注意 ..... 20

その他の注意 ..... 22

1 章　ご使用の前に ..... 23
1.1 各部の名称 ..... 23
1.2 SIM カードの取り付け方／取り外し方 ..... 24
1.2.1 SIM カードの取り付け方 ..... 24
1.2.2 SIM カードの取り外し方 ..... 25
1.3 LED ランプの状態 ..... 26
1.4 初期セットアップの流れ ..... 27
1.4.1 SIM カードの取り付け方 ..... 27
1.4.2 アンテナの取り付け方 ..... 28
1.4.3 取り付け金具を使った設置方法 ..... 28

2 章　本製品との接続 ..... 30
2.1 本製品の電源を入れる ..... 30
2.2 LAN ケーブルを使用して接続する ..... 31
2.3 無線 LAN(WLAN)を使用して接続する ..... 31

3 章　各種設定 ..... 32
3.1 +F FS010M 設定ツールにアクセスする ..... 32
3.1.1 設定ツールのアクセス方法 ..... 32
3.1.2 設定ツールの起動とログイン ..... 32
3.1.3 設定ツールの画面 ..... 33

3.2 ネットワーク ..... 34
3.2.1 LAN ..... 34
3.2.2 WAN/LAN ..... 35
3.2.3 無線 LAN(WLAN) ..... 38
3.2.4 モバイル回線 ..... 42
3.2.5 回線選択 ..... 44
3.2.6 リンクバックアップ ..... 45
3.2.7 DHCP ..... 47
3.3 IPv6 ..... 49
3.3.1 LAN ..... 49
3.3.2 WAN ..... 50
3.3.3 回線選択 ..... 52
3.3.4 DHCP ..... 53
3.3.5 ルーティング ..... 54
3.4 アプリケーション ..... 55
3.4.1 ICMP 疎通確認 ..... 55
3.4.2 DDNS ..... 57
3.4.3 SNMP ..... 58
3.4.4 Radius ..... 60
3.4.5 Tacacs ..... 61
3.4.6 VRRP 設定 ..... 62
3.4.7 スケジュール設定 ..... 63
3.5 VPN ..... 65
3.5.1 VPDN ..... 65
3.5.2 トンネル設定 ..... 67
3.5.3 IPSec 設定 ..... 69
3.5.4 DMVPN 設定 ..... 72
3.6 転送 ..... 75
3.6.1 NAT ..... 75
3.6.2 ルーティング ..... 79
3.6.3 RIP ..... 80
3.6.4 OSPF ..... 81
3.7 セキュリティ ..... 83
3.7.1 IP フィルタリング ..... 83
3.7.2 ドメインフィルタリング ..... 85
3.7.1 MAC フィルタリング ..... 86
3.7.1 リモートアクセス ..... 87
3.7.1 保護機能 ..... 88
3.8 システム ..... 89
3.8.1 ローカルログ ..... 89
3.8.2 リモートログ ..... 90
3.8.3 時刻設定 ..... 91
3.8.4 アカウント ..... 93
3.8.5 ネットワークテスト ..... 94
3.8.6 システム設定 ..... 96
3.8.7 ターミナル ..... 97
3.8.8 ファームウェア更新 ..... 98
3.9 ステータス ..... 100
3.9.1 基本情報 ..... 100
3.9.2 LAN ..... 101
3.9.3 WAN/LAN ..... 102
3.9.4 無線 LAN(WLAN) ..... 103
3.9.5 モバイル回線 ..... 104
3.9.6 ルーティングテーブル ..... 105
3.9.7 トラフィック統計 ..... 106

4 章 困ったときに ..... 107
4.1 本製品と無線 LAN(WLAN)機器が接続できない ..... 107
4.2 インターネットへの接続ができない ..... 107
4.3 通信が切れやすい ..... 107

5 章　付録 ..... 108
5.1 主な仕様 ..... 108
5.2 保証規定 ..... 109
5.3 輸出管理規制 ..... 110
5.4 知的財産権 ..... 110
5.5 オープンソースライセンスの告知 ..... 110

# はじめに

このたびは、「+F FS010M」（以下、本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

## ご使用いただくにあたって

- 本製品は無線を利用しているため、トンネル、地下、建物の中など電波の届かない所や、屋外でも電波の弱い所、サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようご使用ください。
- 本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。
- 本製品は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- SIM カードを取り付けていない状態では使用できません。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容はメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
  - 誤った使いかたをしたとき
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  - 動作中に電源を切ったとき
  - 故障や修理に出したとき
- 長時間連続でご使用された場合、本体が熱くなることがあります。
- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。
- AC アダプタが熱くなることがあります。
- AC アダプタの共振により異音がすることがあります。

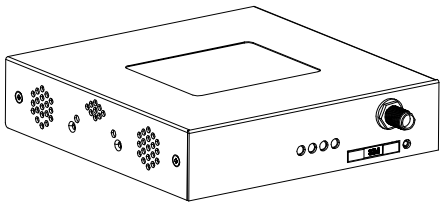
# 免責事項について

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害(情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定以外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、ダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保障いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

# お買い上げ品の確認

お買い上げ品には次のものが入っています。ご使用になる前に確認してください。不足していた場合は、「お問い合わせページ」までご連絡ください。

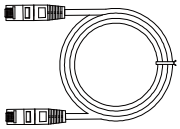
■ +F FS010M 本体



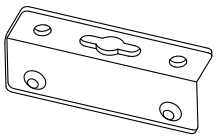
■4G アンテナ×2

■AC アダプタ

■LAN ケーブル



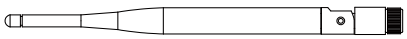
■取り付け金具×2



■取り付け金具用ネジ×6（予備×2）

■クイックスタートガイド

■無線 LAN（WLAN）アンテナ×1（オプション品）



## メモ

・ SIM 取り出しピンは同梱されていません。

# 本製品を設定できる OS

- Windows 11（64bit）
- Windows 10（32/64bit）
- macOS Sonoma
- macOS Ventura
- macOS Monterey
- macOS Big Sur
- macOS Catalina
- macOS Mojave
- Chrome OS
- Android OS 7 以上
- iOS 13 以上

## メモ

- Windows RT、Windows Mobile には対応しておりません。
- OS をアップグレードした場合、動作は保証いたしかねます。
- Android OS/iOS については、一部設定できない機能があります。
- お客様の Web ブラウザの設定によってはご使用できない、もしくは正しく表示されない場合があります。

# 有線 LAN/無線 LAN(WLAN)接続できる OS

- Windows 11 (64bit)
- Windows 10 (32/64bit)
- macOS Sonoma
- macOS Ventura
- macOS Monterey
- macOS Big Sur
- macOS Catalina
- macOS Mojave
- Chrome OS
- Android OS 7 以上
- iOS 13 以上

## メモ

- Windows RT、Windows Mobile には対応しておりません。
- OS をアップグレードした場合、動作は保証いたしかねます。
- 上記の条件は、すべての機器との、有線 LAN/無線 LAN(WLAN)接続を保証するものではありません。使用する機器など、使用環境によっては動作しない場合があります。
- お客様の Web ブラウザの設定によってはご使用できない、もしくは正しく表示されない場合があります。

# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

[表示記号の説明]

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
| ⚠警告 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注意 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。 |

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

[禁止・強制の絵表示の説明]

| | |
|---|---|
| 禁止 | 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。 |
| 分解禁止 | 分解してはいけないことを示す記号です。 |
| 水濡れ注意 | 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。 |
| 濡れ手禁止 | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 |
| 指示 | 本製品の取り扱いに関する指示事項を示しています。 |
| 電源プラグを抜く | 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |

# 本体、AC アダプタ、SIM カード、周辺機器共通

## ⚠ 危険

| | |
|---|---|
| 禁止 | **高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。**<br>**特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。**<br>破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。<br>※ご注意いただきたい例<br>・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする<br>・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む<br>・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける<br>・電車やバスなどの座席シートに挟み込む |
| 水濡れ注意 | **水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **オプション品は、当社が指定したものを使用してください。**<br>指定外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |

## ⚠ 警告

| | |
|---|---|
| 分解禁止 | **分解、改造をしないでください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**<br>火災、やけどなどの原因となります。 |
| 指示 | **可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り使用を中止してください。**<br>可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。 |
| 指示 | **ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。**<br>ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。<br>また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。 |
| 指示 | **使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。**<br>・AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く。<br>上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |

## ⚠ 注意

| | |
|---|---|
| 禁止 | **破損したまま使用しないでください。**<br>火災、やけど、けがなどの原因となります。 |
| 禁止 | **ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。**<br>落下して、けがなどの原因となります。 |
| 禁止 | **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。**<br>火災、やけど、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。**<br>誤飲、けが、感電などの原因となります。 |

| | |
|---|---|
| 禁止 | **乳幼児の手の届く場所に置かないでください。**<br>誤飲、けが、感電などの原因となります。 |
| 指示 | **本製品を継続して使用される場合は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたまま眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。**<br>データ通信など、継続しての使用は、本製品や AC アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。 |
| 指示 | **本製品は温度-20～55℃、湿度 5～95%の結露しない環境でご使用ください。** |
| 指示 | **本製品を壁掛けなどで設置する場合は、必ず同梱品の取り付け金具を使用して、周囲に十分なスペースを確保してください。** |
| 指示 | **垂直面以外の壁や天井には取り付けないでください。**<br>衝撃や揺れにより落下してけがの原因となることがあります。 |
| 指示 | **ベニヤ板や石膏ボードなどのやわらかい壁には設置しないでください。確実に固定できる場所に設置してください。**<br>ネジが外れ落下し、故障、けがの原因となります。 |
| 指示 | **本製品に他の製品を積み重ねたりしないでください。**<br>内部の温度が上昇し、火災の原因になる可能性があります。 |
| 禁止 | **SIM トレイを外したまま使用しないでください。**<br>感電や故障の原因になる可能性があります。 |

# 本体について

## ⚠ 危険

| | |
|---|---|
| 禁止 | **火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。**<br>火災、やけど、けがなどの原因となります。 |
| 禁止 | **鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。**<br>火災、やけど、けがなどの原因となります。 |

| | |
|---|---|
| 指示 | **本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**<br>本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。 |

## ⚠ 警告

| | |
|---|---|
| 禁止 | **本製品内の接続端子や本製品内の SIM トレイに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、SIM トレイの挿入場所や向きを間違えないでください。**<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| 指示 | **病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。**<br>使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。<br>また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。<br>電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。 |
| 指示 | **医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**<br>電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。 |
| 指示 | **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。**<br>電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。<br>※ご注意いただきたい電子機器の例<br>補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。 |
| 指示 | **ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。**<br>発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。 |
| 禁止 | **当社で指定しているアンテナ以外は使用しないでください。** |
| 禁止 | **無線 LAN(WLAN)アンテナ端子に 4G アンテナを接続しないでください。また、4G アンテナ端子に無線 LAN(WLAN)アンテナを接続しないでください。**<br>指定アンテナを正しいアンテナ端子に接続しない場合、または、指定以外の外部アンテナを接続した場合電波法の規定に抵触する可能性があります。 |

## ⚠ 注意

| | |
|---|---|
| 禁止 | **SIM トレイの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM 取り出しピンの先端にご注意ください。**<br>SIM 取り出しピンの先端に触れると、けがなどの原因となります。 |

| | |
|---|---|
| 指示 | **自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**<br>車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。 |
| 指示 | **本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**<br>お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については、本書の「材質一覧」をご参照ください。 |

# AC アダプタについて

## ⚠ 警告

| | |
|---|---|
| 禁止 | **AC アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。(コードに触れると、電気が入ったり切れたりする症状がある場合を含む)**<br>火災、やけど、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **雷が鳴り出したら、AC アダプタには触れないでください。**<br>感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**<br>火災、やけど、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **AC アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。**<br>電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。<br>故障の原因となります。<br>※ご注意いただきたい例<br>・本体と机や壁などの間にはさみ込んだりしない<br>・釘やステープルで固定しない<br>・電源コード類を加工、改造したり、傷つけたりしない<br>・電源プラグおよび電源コード類は、幼児の口や手に触れさせたりしない<br>・重いものをのせたり、引っ張ったりしない<br>・電源コード類を AC アダプタに巻きつけない<br>・落としたり強い衝撃を与えない<br>・AC アダプタと本体をつないだまま移動しない |
| 禁止 | **コンセントに AC アダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**<br>火災、やけど、感電などの原因となります。 |
| 禁止 | **AC アダプタに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。**<br>発火、発熱、感電などの原因となります。 |
| 濡れ手禁止 | **濡れた手で AC アダプタのコードや接続端子、電源プラグ、に触れないでください。**<br>火災、やけど、感電などの原因となります。 |

| | |
|---|---|
| <br>指示 | **指定の電源、電圧で使用してください。**<br>誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。 |
| <br>指示 | **本製品を使用する際は、電源プラグと電源コンセントの間にほこりがたまらないように定期的に清掃し、プラグがしっかりと差し込まれているかも確認してください。**<br>**ただし、お手入れの際は必ずプラグを抜いてから行ってください。年に1回以上の頻度で、電源プラグの周辺部分も清掃してあげることをおすすめします。**<br>ほこりがたまると火災の原因になります。 |
| <br>指示 | **AC アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。**<br>確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。 |
| <br>指示 | **本製品に AC アダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。**<br>正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| <br>指示 | **接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。**<br>接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
| <br>電源プラグを抜く | **使用しない場合は、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。**<br>電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。 |
| <br>電源プラグを抜く | **水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合/付着した形跡がある場合は、直ちにコンセントやアクセサリーソケットから AC アダプタを抜いてください。**<br>付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。 |
| <br>電源プラグを抜く | **お手入れの際は、AC アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。**<br>抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。 |
| <br>指示 | **弊社が指定する AC アダプタは、屋内専用であり、屋外での使用は避けてください。**<br>雨水や塵の混入によって感電や故障の原因となることがあります。 |
| <br>禁止 | **AC アダプタまたはオプション品は、同梱品を使用してください。**<br>同梱品以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因になります。 |

| | |
|---|---|
| 禁止 | **AC アダプタを他の機器につながないでください。**<br>発火や感電の原因になります。<br>同梱品の AC アダプタは本製品専用になります。 |
| 指示 | **コンセント周辺は定期的に清掃してください。**<br>コンセントにプラグを差し込んだまま放置すると、湿気などによりたまったホコリがトラッキング現象を引き起こし、発火の危険性があります。トラッキング現象を防ぐために、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で清掃してください。 |
| 指示 | **電源タップを使用するときは定格容量以内で使用し、たこ足配線はしないでください。**<br>電源タップの定格容量(「1500W」などの記載)を超えて使用すると、<br>電源タップが過熱し、発火の原因になります。 |

**⚠ 注意**

| | |
|---|---|
| 禁止 | **コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で AC アダプタに継続して触れないでください。**<br>やけどなどの原因となります。 |
| 指示 | **人が通行するような場所に設置しないでください。**<br>足を引っ掛けると、けがの原因になります。 |

## SIM カードについて

**⚠ 注意**

| | |
|---|---|
| 指示 | **SIM カードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。**<br>切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。 |
| 指示 | **本製品を周囲温度 40℃以上の環境で使用する場合、<br>本製品内部の温度が 60℃以上になる可能性があります。<br>ご利用になる SIM カードの温度条件については、契約された通信事業者に確認してください。** |

## 医用機器近くおよび医用機関内でのご使用について

**⚠ 注意**

| | |
|---|---|
| 指示 | **植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を 15cm 以上離して携行および使用してください。**<br>電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。 |

| | |
|---|---|
| <br>指示 | **自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。**<br>電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。 |
| <br>指示 | **身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください。**<br>付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。 |
| <br>指示 | **医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。**<br>電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。 |

# 材質一覧

## 本体

| 使用箇所 | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|
| シェル | スチール | スプレー塗装 |
| DC ソケット | PC+ABS+黄銅/リン青銅 | メッキ |
| SIM スロット | PC+ABS+リン青銅 | メッキ |
| Reset ボタン | PC+ABS+黄銅+炭素鋼バネ | − |
| RJ45 ソケット | PC+ABS+黄銅 | − |

## 4G アンテナ

| 使用箇所 | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|
| 表面 | ABS | − |
| コネクタ | 黄銅 | 金メッキ/ニッケルメッキ |

## AC アダプタ

| 使用箇所 | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|
| シェル | PC+ABS | − |
| コネクタ | 黄銅 | メッキ |

## LAN ケーブル

| 使用箇所 | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|
| 表面 | PVC | − |
| 導体 | 銅 | − |
| コネクタプラザ | PC | − |
| | 銅 | メッキ |
| 絶縁層 | PE | − |

## 取り付け金具

| 使用箇所 | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|
| ブラケット | スチール | スプレー塗装 |

## 取り付けネジ

| 使用箇所 | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|
| ネジ | カーボンスチール | メッキ |

## 無線 LAN(WLAN)アンテナ

| 使用箇所 | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|
| 表面 | PC+PBT | − |
| コネクタ | 黄銅 | 金メッキ/ニッケルメッキ |

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

- **お手入れの際は、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **本製品に虫よけ剤（ディート製剤）が、かからないよう、ご注意ください。**
  変色、劣化の恐れがあります。
- **端子は、定期的に乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れる原因となります。端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には、端子を破損しないように十分ご注意ください。
- **本製品をエアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食して故障の原因となります。
- **本製品に無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたりすると、内部基板などの破損、故障の原因となります。
- **水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。**

## 本製品についてのお願い

- **極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所は避けてください。**
- **電話機やテレビ・ラジオなどの近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となるため、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。**

# SIM カードについてのお願い

- **SIM カードの取り付け・取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **IC 部分（金属面）は、きれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れの際は、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **SIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **SIM カードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。

# 無線 LAN（WLAN）ご利用に関するご注意

## ■ 無線 LAN（WLAN）について

**電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所で使用しないでください。**

磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
テレビ、ラジオなどに近いと、受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
近くに複数の無線 LAN（WLAN）アクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

## ■ 周波数帯域について

**本製品の裏面に貼り付けられているシールの 2.4 DS4/OF4 は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として DS-SS、および OFDM を採用、干渉距離として 40m 以下であることを表します。**

## ■ 2.4GHz 機器使用上の注意事項

**本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。**

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、電波の発射を停止して、電波干渉をしないようにしてください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合には、「お問い合わせページ」までお問い合わせください。

## ■ セキュリティについて

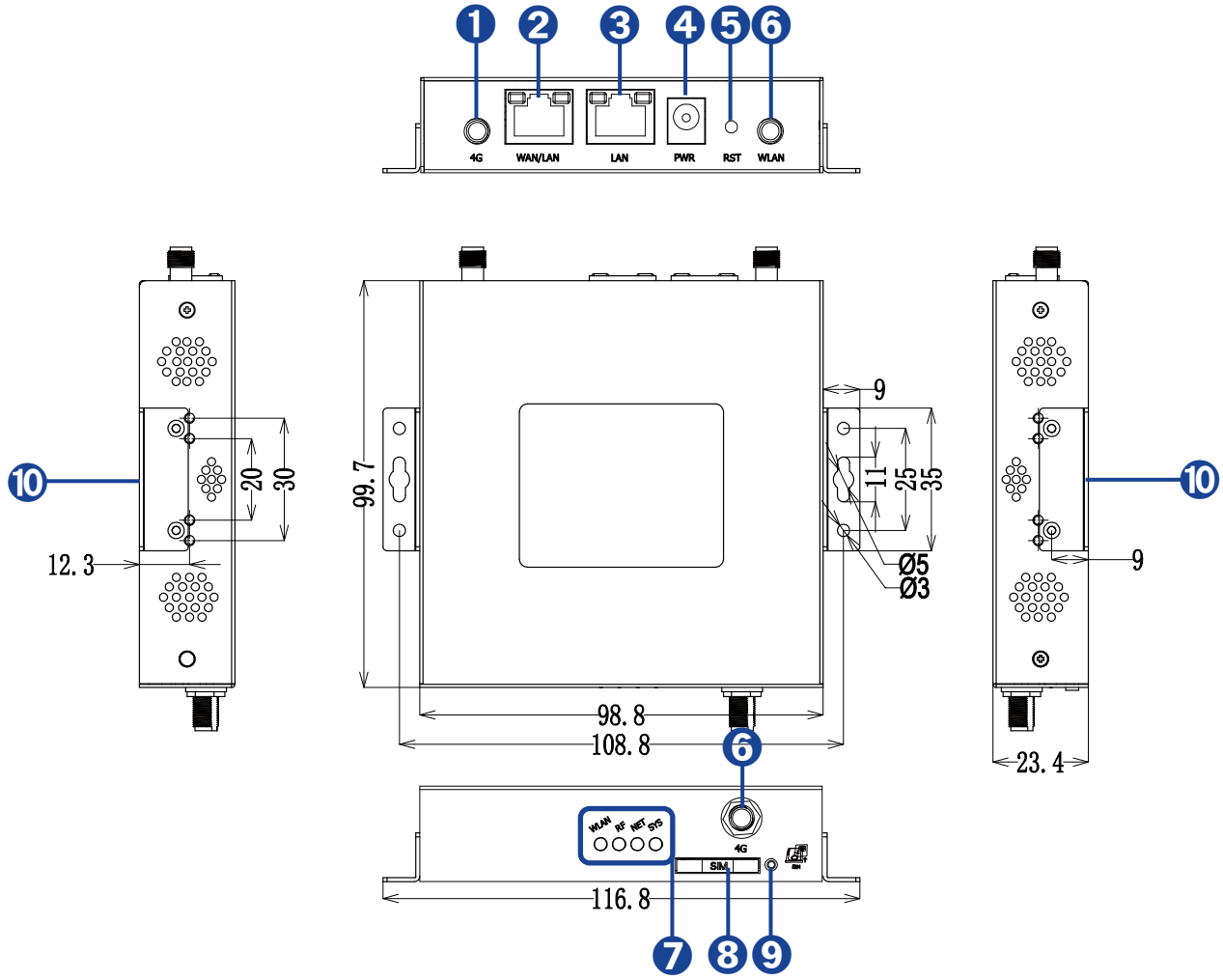
無線 LAN(WLAN)では、LAN ケーブルの代わりに電波を利用して、無線 LAN(WLAN)機器と無線 LAN(WLAN)アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能になるという利点があります。その反面、電波が届く範囲内であれば、障害物を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりするおそれがあります。
本製品は、お買い上げ状態では「WPA2-AES」が設定されています。安全性を考慮し、セキュリティプロトコルを変更せず、初期パスワードのみを変更し、本製品をお使いになることをお勧めします。

# その他の注意

- **本製品は、絶対に改造して使用しないでください。改造した機器を使用すると電波法に抵触します。**
  本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証は本製品の本体内で確認できます。本製品のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触するため、絶対に使用しないでください。
- **ご使用の接続機器と無線 LAN(WLAN)、または有線 LAN で接続されている場合、接続機器によっては、意図しないデータ通信料が発生する場合があるためご注意ください。**
  **使用しないときは、本製品の電源を切ってください。**
- **本製品用の最新ソフトウェアの確認、および、その他各種サービスを確認するため、当社サーバーへのデータ通信が発生することがあります。本データ通信料はお客様のご負担になります。**
  **(データサイズ:約 60KB~90KB/月)**
- **国際ローミングには対応していません。本製品は、日本国内のみで使用できます。**
  **海外で使用すると罰せられる可能性があるため、海外では電源を入れないでください。**

# 1章　ご使用の前に

## 1.1　各部の名称

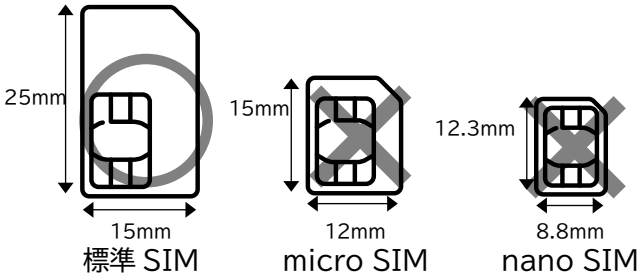



| 名称 | はたらき |
|---|---|
| ❶4G アンテナコネクタ | 4G アンテナを取り付けます。 |
| ❷WAN/LAN コネクタ | WAN ケーブルまたは LAN ケーブルを取り付けます。 |
| ❸LAN コネクタ | LAN ケーブルを取り付けます。 |
| ❹電源コネクタ | AC アダプタを取り付けます。 |
| ❺リセットボタン | ・　電源が ON の状態で「5 秒未満」押すと、再起動します。<br>・　電源が ON の状態で「5 秒以上」押し続けると設定がクリアされ、お買い上げ時の状態に戻ります。 |
| ❻WLAN アンテナコネクタ | WLAN アンテナを取り付けます。 |
| ❼LED ランプ | 本製品の各種状態をLEDランプで表します。<br>※LEDランプの詳細はこちら |
| ❽SIM トレイ | 標準SIMカードを取り付けます。 |
| ❾SIM トレイ押し出しボタン | ボタンを押すことによりSIMトレイを引き出します。 |
| ❿取り付け金具 | 取り付け金具を使用して、壁などに固定することができます。 |

# 1.2 SIM カードの取り付け方／取り外し方

SIM カードは、電話番号などのお客様情報が記録されている IC カードです。本製品を使用するためには、SIM カードを取り付ける必要があります。本製品に取り付けないと、データ通信などを利用できません。
本製品は標準 SIM カードに対応しています。

**[SIM カード取り付けについて注意]**
本製品は標準 SIM カード専用です。
異なるサイズの SIM は取り付けることはできません。



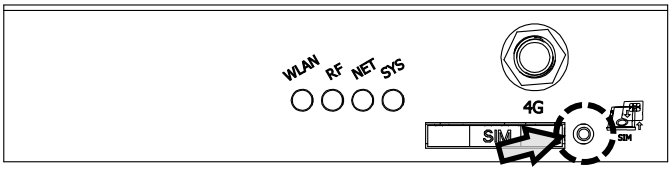

・ SIM カードのサイズが合わない場合は、ご契約された通信事業者にお問い合わせください。

## 1.2.1 SIM カードの取り付け方

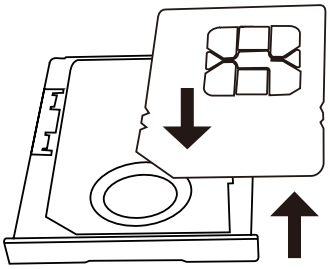
**1.** 本製品の電源が入っているときは、AC アダプタを抜いて電源を切ります。

**2.** 本体前面の SIM ボタンを SIM 取り出しピンなど
細長い棒状のもので押し、SIM トレイを引き出します。

■本体前面




**3.** SIM カードの切り欠き部分を確認し、SIM トレイに SIM カードを置きます。
SIM カードが SIM トレイの板バネにより固定されていることを確認してください。

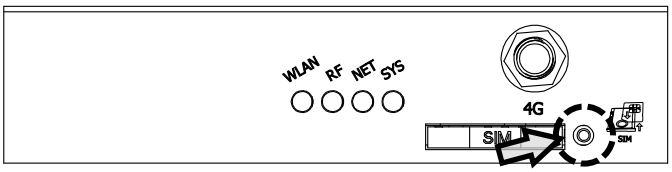


**4.** SIM トレイを本製品に戻します。

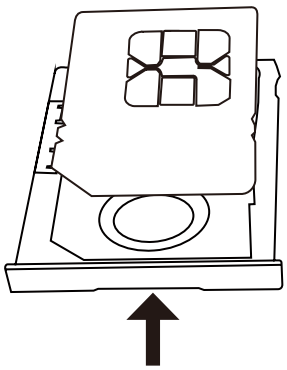
## 1.2.2　SIM カードの取り外し方

1. 本製品の電源が入っているときは、AC アダプタを抜いて電源を切ります。
2. 本体前面の SIM ボタンを SIM 取り出しピンなど
   細長い棒状のもので押し、SIM トレイを引き出します。

■本体前面




3. SIM トレイ背面の穴から SIM カードを押し出します。

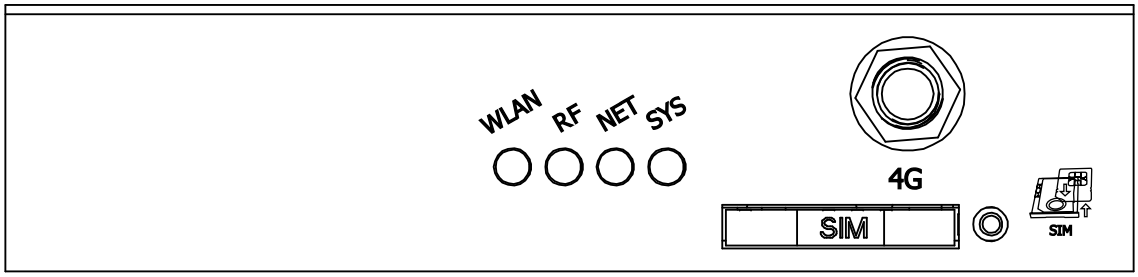


### メモ

- SIM カードの IC 部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- SIM カードを無理に取り付けたり、取り外したりすると故障の原因となります。
- SIM カードを逆向きに挿入すると故障の原因となります。
- SIM カードにシール等を張り付けた状態で取り付けると取り出せない原因となります。
- SIM カードにはシール等を張り付けないでください。
- 本製品の電源が ON の状態で SIM カードを取り付けたり、取り外したりしないでください。故障の原因となります。

# 1.3 LED ランプの状態

■本体前面




| LED ランプ名 | はたらき | |
|---|---|---|
| WLAN | 無線LAN(WLAN)の状態を表します。 | |
| | 点灯 | 無線 LAN(WLAN)「有効」状態 |
| | 消灯 | 無線 LAN(WLAN)「無効」状態 |
| | 点滅 | WPS 接続受け付け状態 |
| RF | 4G/3G 通信の電波強度を表します。 | |
| | 点灯 | 電波強度が「強」状態 |
| | 点滅(0.1 秒間隔) | 電波強度が「中」状態 |
| | 点滅(0.5 秒間隔) | 電波強度が「弱」状態 |
| | 消灯 | 電波強度が「圏外」状態 |
| NET | 4G/3G ネットワークの接続状態を表します。 | |
| | 点灯 | 接続成功 |
| | 点滅(0.1 秒間隔) | 接続確立中 |
| | 点滅(0.5 秒間隔) | 接続失敗 |
| | 消灯 | 接続無効 |
| SYS | 本製品の電源状態を表します。 | |
| | 点灯 | 電源ON状態 |
| | 消灯 | 電源OFF状態 |

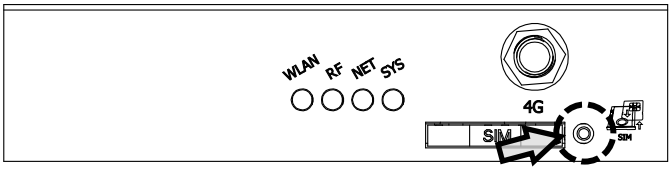
# 1.4 初期セットアップの流れ

はじめてお使いになる場合は以下手順にて本製品をセットアップしてください。

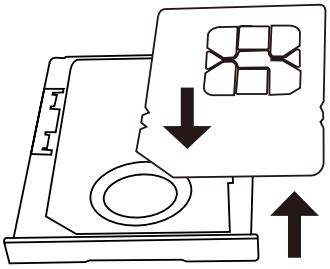
## 1.4.1 SIM カードの取り付け方

1. 本製品の電源が入っているときは、AC アダプタを抜いて電源を切ります。
2. 本体前面の SIM ボタンを SIM 取り出しピンなど
   細長い棒状のもので押し、SIM トレイを引き出します。

■本体前面




3. SIM カードの切り欠き部分を確認し、SIM トレイに SIM カードを置きます。
   SIM カードが SIM トレイの板バネにより固定されていることを確認してください。



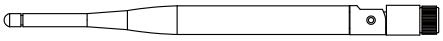
4. SIM トレイを本製品に戻します。

## 1.4.2　アンテナの取り付け方

[アンテナの種類]

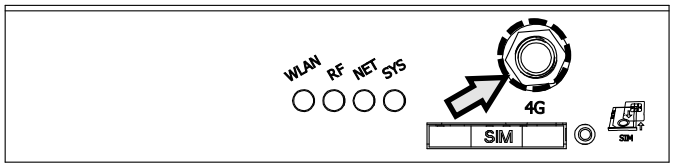
4G アンテナ×2

無線 LAN(WLAN)アンテナ

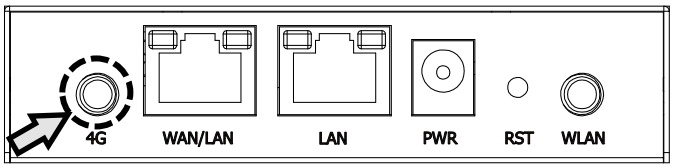


**1.** 本体前面と後面に同梱品の 4G アンテナを取り付けます。

■本体前面

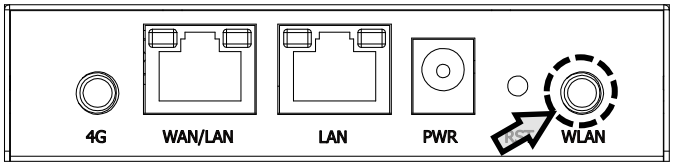



■本体後面




**2.** 本体後面に無線 LAN(WLAN)アンテナに取り付けます。
※無線 LAN(WLAN)アンテナはオプション品です。

■本体後面




## 1.4.3　取り付け金具を使った設置方法

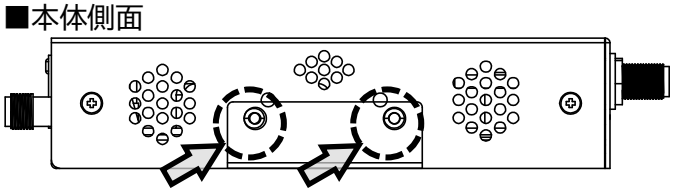
同梱品の取り付け金具を使用して、壁などに固定することができます。

**必要なもの**

- プラスドライバー
- 固定場所への取り付けネジ

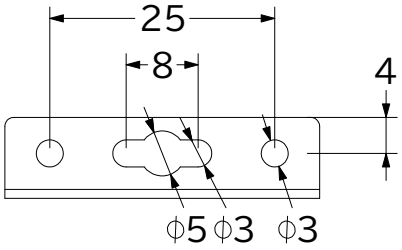
**1.** 同梱品の取り付け用ネジを使用し、本体側面に取り付け金具を取り付けます。

■本体側面



**2.** 安定した場所を選び、固定したい場所に設置します。

■取り付け金具の図



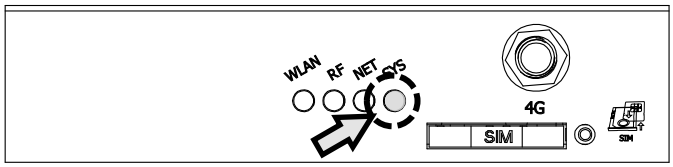
# 2章 本製品との接続

本製品の LAN ケーブル/無線 LAN(WLAN)で接続する手順について説明します。

## 2.1 本製品の電源を入れる

**1.** 同梱品の AC アダプタを使い、本体と電源コンセントにつなぎます。

**2.** 本体の SYS ランプが点灯したら起動完了です。



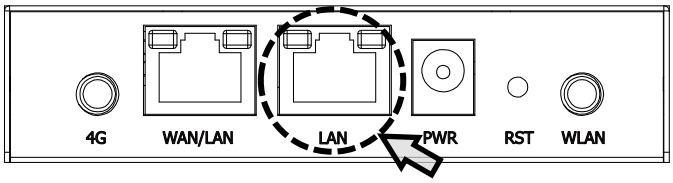

・ 本体の AC アダプタ挿し口を床や地面に向け設置する場合、AC アダプタのコネクターが重力の影響によって抜けやすくなります。テープ等で固定するなどして設置してください。

## 2.2 LAN ケーブルを使用して接続する

手順はパソコンを例にして説明しています。

**1.** 本体前面に同梱品の LAN ケーブルを接続します。

■本体後面




**2.** LAN ケーブルのもう一方をパソコンに接続します。

### メモ

・ WAN/LAN ポートを WAN としてご利用されたい場合、本体の設定を変更する必要があります。
設定方法は、「3.2.2 WAN/LAN」をご確認ください。

## 2.3 無線 LAN(WLAN)を使用して接続する

本製品に設定されている SSID の「パスワード」を使用して接続する方法です。

・ 無線 LAN(WLAN)を使用する場合には、
オプション品の無線 LAN(WLAN)アンテナが必要となります。取り付け方法については、
「1.4.2 アンテナの取り付け方」をご参照ください。

**1.** パソコンの無線 LAN(WLAN)機能を ON にします。
パソコンの無線 LAN(WLAN)機能を ON にする方法は機種ごとに異なるため、ご使用のパソコンの取扱説明書などをご確認ください。

**2.** 本製品の個装箱に貼ってある「無線 LAN(WLAN)接続情報」のシールから、SSID とパスワードを確認します。

無線 LAN 接続情報 (+F FS010M)
SSID:xxxxxxxxxxxxxxxx
パスワード:xxxxxxxxxxxxxxxx

**3.** パソコンから本製品の SSID(FS010M_××××××)をリストから選択し、「接続」をクリックします。

**4.** パスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

**5.** 「接続済み、セキュリティ保護あり」と表示されていれば、接続完了です。

# 3章 各種設定

## 3.1 +F FS010M 設定ツールにアクセスする

本製品と有線 LAN/無線 LAN(WLAN)接続した機器の Web ブラウザで、本製品の各種設定ができます。

### 3.1.1 設定ツールのアクセス方法

本製品の設定ツールにアクセスする方法です。
本製品と接続した状態でパソコンの Web ブラウザから下記 URL をご入力ください。

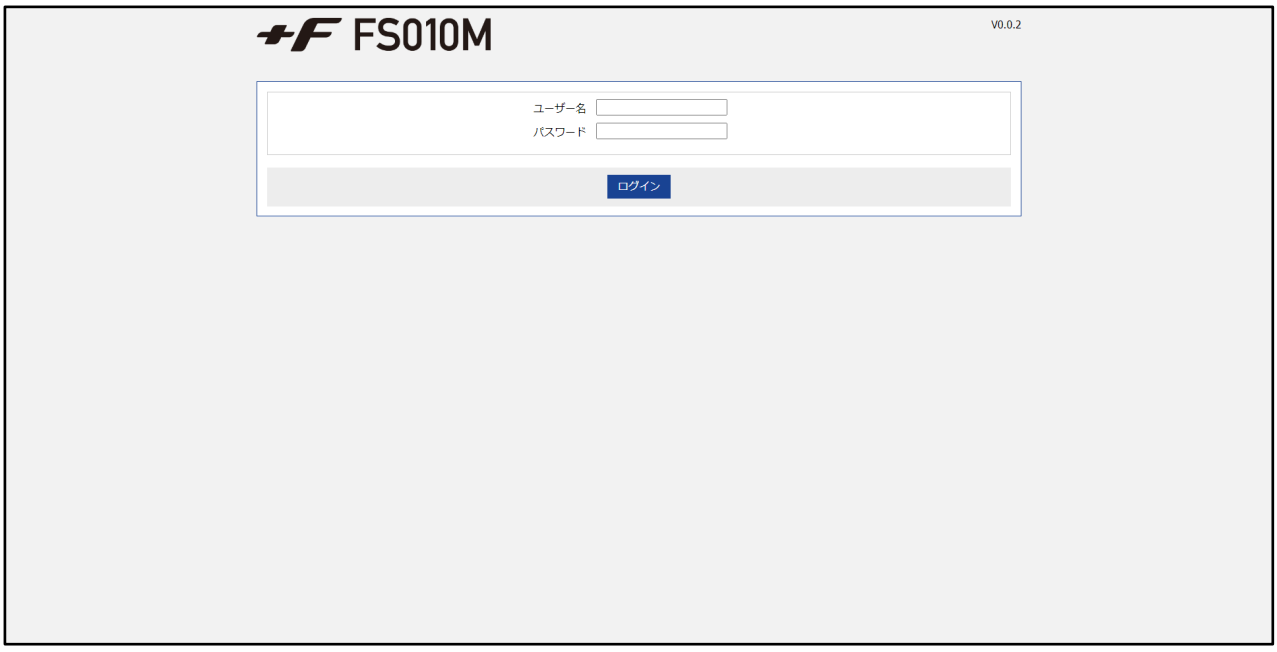
http://192.168.100.1/

**メモ**

- 設定ツールにアクセスする IP アドレスは、お買い上げ時、「192.168.100.1」に設定されています。
- 10 分間操作を行わない場合、自動的にタイムアウトとしてログアウトされます。

### 3.1.2 設定ツールの起動とログイン

本製品と有線 LAN/無線 LAN(WLAN)接続した機器の Web ブラウザで、本製品の各種設定ができます。



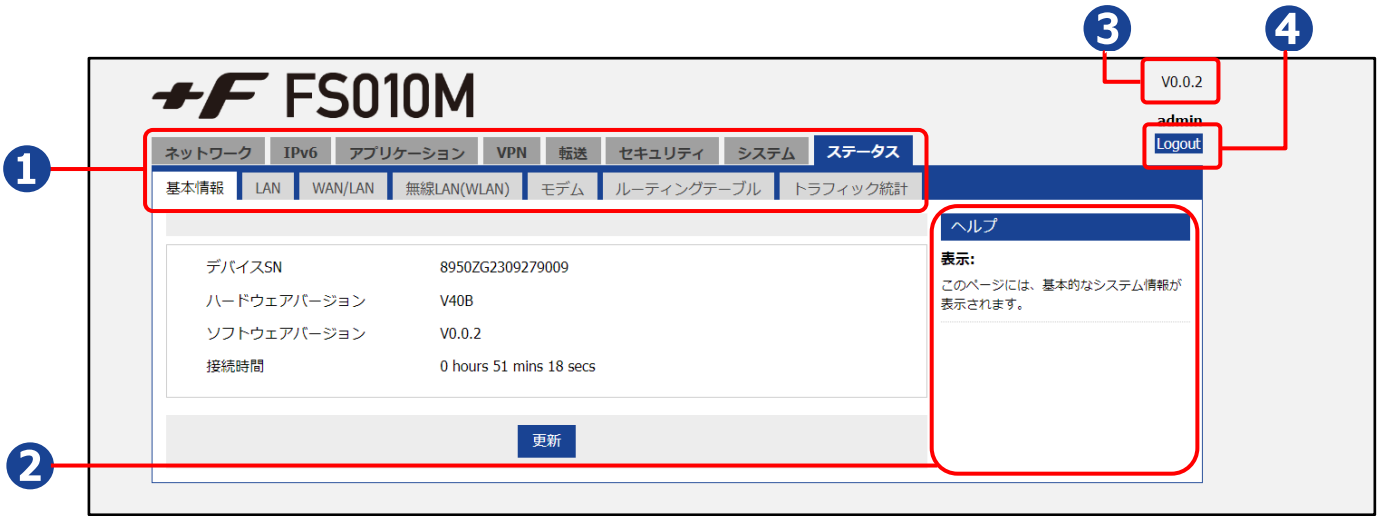

1. 設定ツールにアクセスします。
「3.1.1 設定ツールのアクセス方法」をご参照ください。

2. パスワード欄にパスワードを入力します。

- ログインパスワードは、お買い上げ時、ユーザー名は「admin」(半角)、パスワードは「admin」(半角)に設定されています。セキュリティ保護のため、変更することをお勧めします。

**3.** 「ログイン」をクリックします。

### 3.1.3　設定ツールの画面




1 設定機能の項目一覧を表示しています。

2 ヘルプ： 機能に関するヘルプを表示します。

3 ファームウェアのバージョンを表示しています。

4 ログアウト： +F FS010M 設定ツールからログアウトします。

5 有効/無効： 設定を「有効」または「無効」にします。

6 編集/削除： 追加した設定を、「編集」または「削除」します。

7 追加： 設定の追加ができます。

8 保存/更新： 設定した項目の「保存」、ステータスの「更新」します。

# 3.2 ネットワーク

## 3.2.1 LAN

画面ナビ ネットワーク ＞ LAN

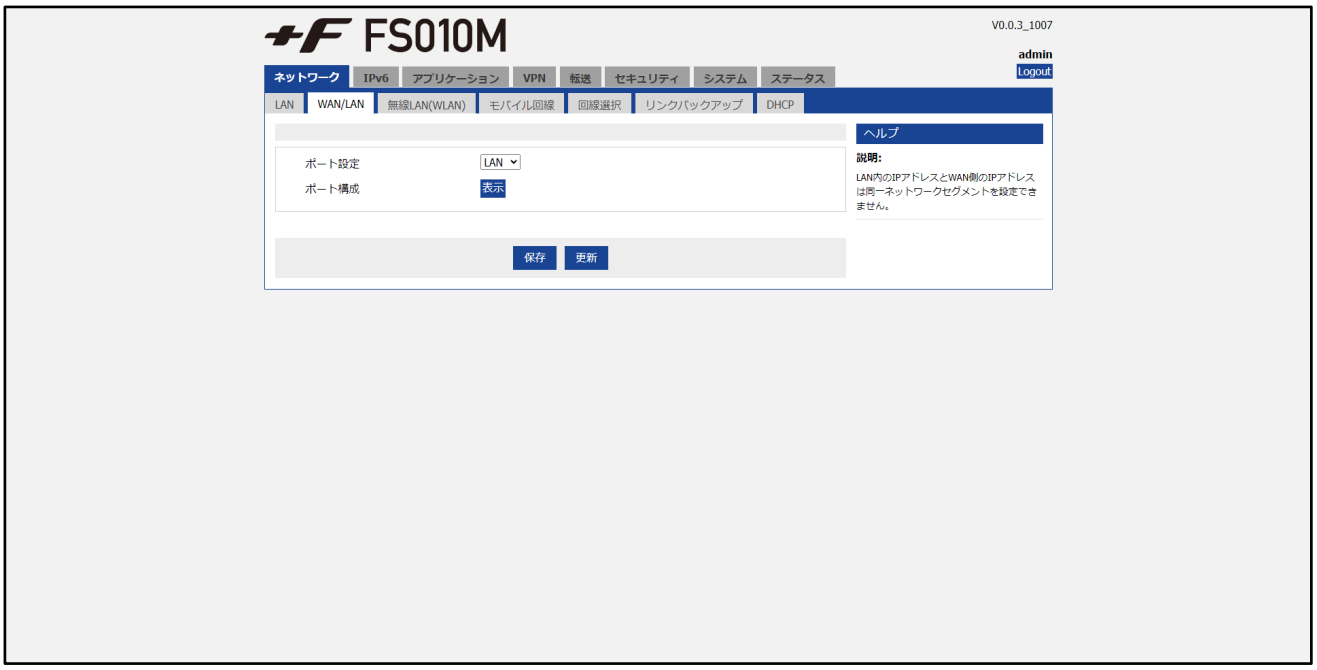
LAN ポートに関する基本的な設定を行います。
「表示」をクリックすると、LAN ポート構成の編集ができます。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **ホスト名** | | ルーターのホスト名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 32 文字 | Router |
| **IP アドレス** | | 本製品の IP アドレスとサブネットマスクを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字と<br>1～32 の数字 | 192.168.100.1/24 |
| **ループバックアドレス** | | ループバックアドレスとサブネットマスクを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字と<br>1～32 の数字 | － |
| **基本設定** | **通信設定** | LAN ポートの通信に関する選択をします。<br>※「自動」でご利用いただくことをおすすめします。 | 自動<br>自動的に伝送速度、伝送モードが設定されます。 | 自動 |
| | | | 手動<br>伝送速度、伝送モードを個別に設定します。 | |
| | | | オフ<br>LAN ポートが無効に設定されます。 | |
| | **伝送速度** | 伝送速度を選択します。<br>※通信設定「手動」選択時に表示されます。 | 100baseT | 100baseT |
| | | | 10baseT | |
| | **伝送モード** | 伝送モードを選択します。<br>※通信設定「手動」選択時に表示されます。 | full | full |
| | | | half | |

## 3.2.2 WAN/LAN

画面ナビ ネットワーク ＞ WAN/LAN

WAN/LAN ポートに関する基本的な設定を行います。
ポート設定を LAN に選択すると、LAN ポートとして動作します。
WAN を選択すると、WAN/LAN ポートとして動作します。




| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **ポート設定** | | WAN/LAN ポートの選択をします。 | WAN<br>LAN | LAN |
| **接続方式** | | WAN 回線の接続方法を選択します。<br>※ポート設定「WAN」選択時に表示されます。 | 静的 IP<br>DHCP<br>PPPoE | 静的 IP |
| **基本設定** | **通信設定** | WAN/LAN ポートの通信に関する選択をします。<br>※「自動」でご利用いただくことをおすすめします。 | 自動<br>自動的に伝送速度、伝送モードが設定されます。<br>手動<br>伝送速度、伝送モードを個別に設定します。<br>オフ | 自動 |
| | **伝送速度** | 伝送速度を選択します。<br>※通信設定「手動」選択時に表示されます。 | 100baseT<br>10baseT | 100baseT |
| | **伝送モード** | 伝送モードを選択します。<br>※通信設定「手動」選択時に表示されます。 | full<br>half | full |

## ■ WAN 選択時の設定

ポート設定を WAN に選択した場合の WAN 回線の接続方法を設定します。

・静的 IP：固定の IP アドレスを設定します。
・DHCP：自動で IP アドレスが設定されます。
・PPPoE：事業者から提供された接続情報を設定します。IPアドレスはサービス事業者の回線接続時に設定されます。

**静的 IP 選択**

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **接続方式** | WAN 選択時、WAN/LAN ポートの接続方法を選択します。 | 静的 IP<br>DHCP<br>PPPoE | 静的 IP |
| **IP アドレス** | 本製品の IP アドレスとサブネットマスクを入力します。<br>※静的 IP 選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字と 1～32 の数字 | 192.168.10.1/24 |

**PPPoE 選択**

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **接続方式** | WAN 選択時、WAN/LAN ポートの接続方法を選択します。 | 静的 IP<br>DHCP<br>PPPoE | 静的 IP |
| **プロファイル名** | プロファイル名が表示されます。 | pppoe | pppoe |
| **サービス名** | 任意のサービス名を入力します。<br>※PPPoE 選択時に表示されます。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| **ユーザー名** | 事業者から指定されたユーザー名を入力します。<br>※PPPoE 選択時に表示されます。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| **パスワード** | 事業者から指定されたパスワードを入力します。<br>※PPPoE 選択時に表示されます。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |

**PPPoE 選択（詳細表示）**

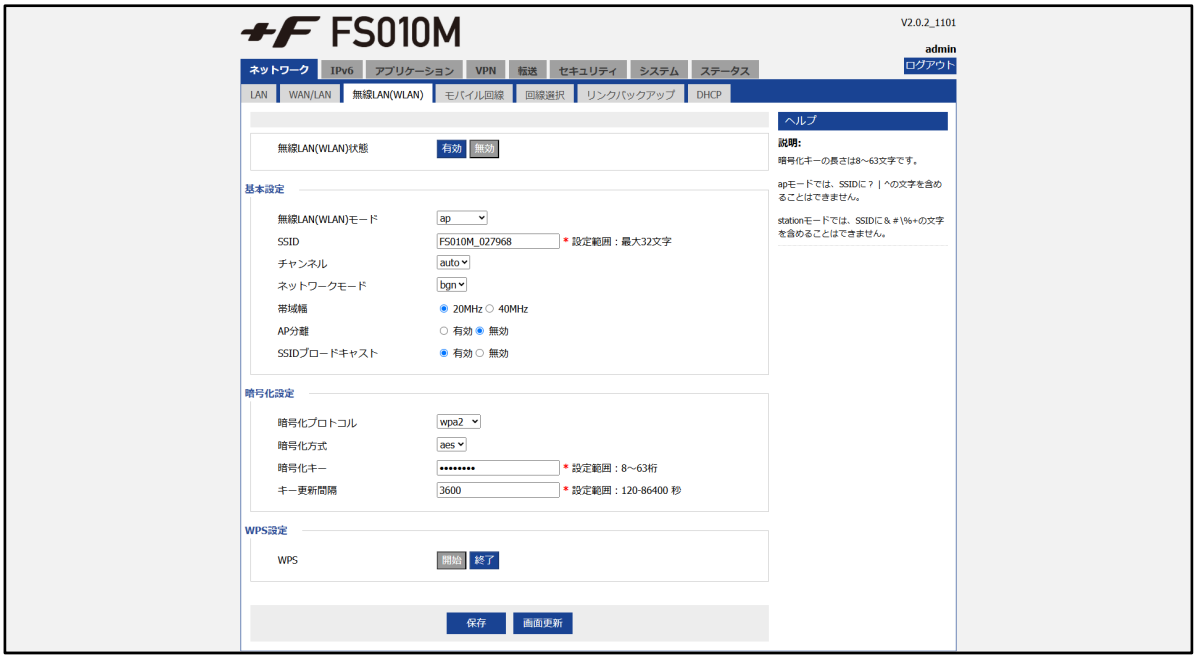
| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **認証** | CHAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | PAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | MS-CHAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | MS2-CHAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | EAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 圧縮 | 圧縮制御プロトコル | 圧縮制御プロトコルの有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| | アドレス/コントロール圧縮 | アドレス/コントロール圧縮の有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| | プロトコルフィールド圧縮 | プロトコルフィールド圧縮の有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| | VJ ヘッダー圧縮 | VJヘッダー圧縮の有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| | ID 接続圧縮 | ID接続圧縮の有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| その他 | デバッグログ設定 | PPP接続ログの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | 対向 DNS | 対向のDNSクライアントの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | LCP 送信間隔 | 外部IPアドレスと接続確認を行う間隔を入力します。 | 1～512(秒) | － |
| | LCP 再試行回数 | 疎通確認を再試行する回数を入力します。 | 1～512 | － |
| | MTU | MTU値を入力します。 | 128～1500 | － |
| | MRU | MRU値を入力します。 | 128～1500 | － |
| | ローカル IP アドレス | ローカルIPアドレスを固定にする場合、入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | リモート IP アドレス | リモートIPアドレスを固定にする場合、入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |

## 3.2.3 無線 LAN(WLAN)

画面ナビ ネットワーク ＞ 無線 LAN(WLAN)

無線 LAN(WLAN)に関する基本的な設定を行います




| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 無線 LAN(WLAN)状態 | | 無線 LAN(WLAN)状態の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| 基本設定 | 無線 LAN(WLAN)モード | 無線 LAN(WLAN)モードを選択します。 | ap<br>station<br>repeater | ap |
| | SSID | SSID を入力します。<br>※station/repeater モード選択時は接続先の SSID を選択するか、直接入力する必要があります。 | 半角英数字記号<br>最大 32 文字 | FS010M_××××× |
| | チャンネル | チャンネルを選択します。 | auto<br>1～13 | auto |
| | ネットワークモード | 通信規格を選択します。 | b<br>g<br>n<br>bg<br>gn<br>bgn | bgn |
| | 帯域幅 | 無線 LAN(WLAN)の周波数帯域幅を選択します。 | 20MHz<br>40MHz | 20MHz |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **基本設定** | **AP 分離** | AP 分離の有効/無効を選択します。 | 有効<br>端末同士のアクセスを禁止します。 | 無効 |
| | | | 無効<br>端末同士のアクセスを許可します。 | |
| | **SSID ブロードキャスト** | SSID 表示の有効/無効を選択します。 | 有効<br>SSID が無線 LAN 機器上で表示されます。 | 有効 |
| | | | 無効<br>SSID が無線 LAN 機器上で表示されません。 | |
| **暗号化設定** | **暗号化プロトコル** | 無線 LAN(WLAN)のセキュリティを選択します。 | disable | wpa2 |
| | | | wpa | |
| | | | wpa2 | |
| | **暗号化方式** | 暗号化方式を選択します。 | aes | aes |
| | | | tkip | |
| | **暗号化キー** | 任意の暗号化キーを入力します。<br>※無線 LAN(WLAN)モードが station/repeater の場合は接続先の機器の暗号キーを設定します。 | 8～63 文字の半角英数字/記号 | − |
| | **暗号化キー更新間隔** | 自動的に更新される間隔を入力します。<br>※ap/repeater モード選択時に表示されます。 | 120～86400(秒) | 3600 |
| **WPS 設定** | **WPS** | WPS 接続を実行できます。 | 開始<br>120 秒間、無線 LAN 端末からの WPS 接続を受け付ける状態になります。 | 終了 |
| | | | 終了 | |

## メモ

- WPS 接続は、スマートフォンなどの接続機器が対応していない場合は、ご利用できません。
- WPS 接続中は 120 秒間操作を行わないでください。
- 120 秒間経過しても WPS 接続できなかった場合は、タイムアウトします。
- WPS 接続の受付中は、本製品の WLAN の LED ランプが点滅状態になります。

## Station モード選択時の接続操作

1. 「無線LAN(WLAN)モード」から「station」を選択します。
2. 一定時間経過後、周辺のアクセスポイントの一覧が表示されます。
3. 接続したいアクセスポイントの「Connect」ボタンを押下します。
   該当のSSID、BSSIDの情報が自動で反映されます。
4. 接続したいアクセスポイントのキーを「WPA共有キー」に入力します。
5. 「保存」をクリックします。

※アクセスポイントの SSID がステルス設定されている場合は、手順 3.で「SSID」に直接アクセスポイントの SSID を入力してください。

## Repeater モード選択時の接続操作

1. 「無線LAN(WLAN)モード」から「Repeater」を選択します。
2. 一定時間経過後、周辺のアクセスポイントの一覧が表示されます。
3. 接続したいアクセスポイントの「Connect」ボタンを押下します。
   該当のSSID、BSSIDの情報が自動で反映されます。
4. 接続したいアクセスポイントのキーを「WPA共有キー」に入力します。
5. 「保存」をクリックします。

※Repeater モードで利用する場合は「DHCP」設定を無効にする必要があります。

## 3.2.4　モバイル回線

画面ナビ　ネットワーク ＞ モバイル回線

モバイル回線に関する基本的な設定を行います。
「追加」をクリックするとプロファイルを追加できます。
「編集」をクリックすると追加したプロファイルを編集でき、「削除」をクリックすると削除します。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| モバイル回線 | | モバイル回線の有効/無効を選択します。 | 有効<br>設定したプロファイルで起動と同時に接続します。 | 有効 |
| | | | 無効 | |
| 基本設定 | プロファイル名 | 接続するプロファイルを選択します。<br>※「auto」を選択した場合は、製品に搭載されたプロファイルを使用して自動的に接続操作を行います。 | auto | auto |
| | | | ※設定されたプロファイル名が表示されます。 | |
| | ネットワークモード | 使用するネットワークの通信方式を選択します。 | auto | auto |
| | | | 4G | |
| | | | 3G | |
| | PIN | ご使用中の SIM カードの PIN コードを入力します。 | 4～8 桁の数字 | － |
| 詳細設定 | MTU 設定 | MTU 値を選択します。 | auto | auto |
| | | | manual | |
| | MTU | MTU 値を入力します。<br>※MTU 設定「manual」選択時に表示されます。 | 128～1500 | － |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 詳細設定 | キープアライブ | キープアライブの選択をします。<br>本設定を on にした場合、指定のアドレスに対して定期的にデータパケットを送信する事で通信状態を維持します。 | on | off |
| | | | off | |
| | 送信先アドレス | 送信先アドレスを入力します。<br>※キープアライブ「on」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | ポート番号 | 送信先ポート番号を入力します。<br>※キープアライブ「on」選択時に表示されます。 | 1～65535 | － |
| | 周期間隔 | データパケットの周期間隔を入力します。<br>※キープアライブ「on」選択時に表示されます。 | 1～65535 | － |
| プロファイル設定 | プロファイル名 | 任意のプロファイル名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 24 文字 | － |
| | APN | 事業者から指定された APN を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| | ユーザー名 | 事業者から指定されたユーザー名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| | パスワード | 事業者から指定されたパスワードを入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| | 認証 | 事業者から指定された認証方式を選択します。 | chap | chap |
| | | | pap | |
| | | | chap+pap | |
| | IP タイプ | 事業者から指定されたプロトコルタイプを選択します。 | IPv4 | IPv4 |
| | | | IPv4v6 | |
| | | | IPv6 | |

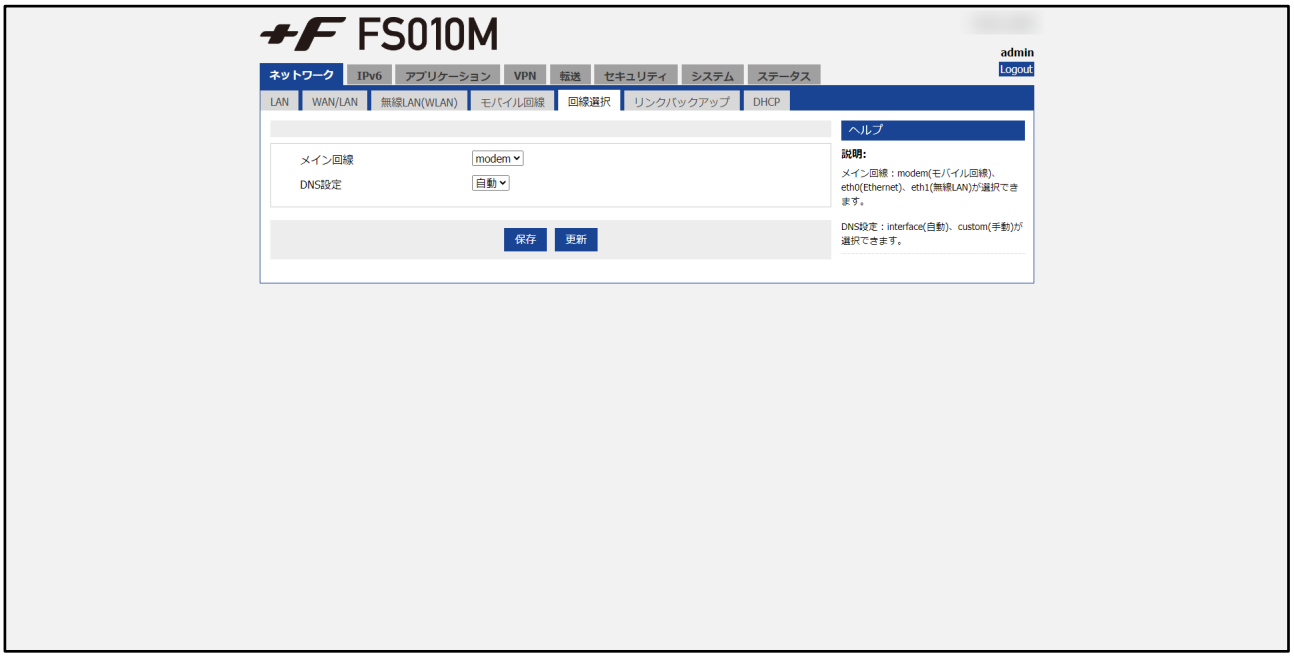
## メモ

- 「PIN」は、PIN 認証が有効に設定された SIM カードが装着された際、PIN 認証で使用する 4～8 桁の PIN コードを登録できます。
- 本製品はSIMカードに対するPINコードの有効、無効、変更操作は行えません。
- プロファイルは最大 10 個まで設定できます。
- 「IP タイプ」を IPv4v6 に設定する場合、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方が割り当てられる SIM カードをご利用ください。片方のみ割り当てられる SIM カードの場合、接続できません。
  ※SIM カードの IP タイプが不明の場合は、事業者にご確認ください。
  ※事業者への確認が難しい場合は、「IPv4」、「IPv6」、「IPv4v6」をすべてお試しいただき、
  通信可能な設定値をご利用ください。

## 3.2.5　回線選択

画面ナビ　ネットワーク ＞ 回線選択

WAN 側の通信インターフェースを設定します。
メイン回線（モバイル回線／無線 LAN（WLAN）／有線 LAN）の選択、DNS の設定を行います。




| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **メイン回線** | WAN 側のメイン回線を選択します。<br>※選択したメイン回線を利用するためには、各インターフェースの設定を行っておく必要があります。 | modem<br>モバイル回線<br>eth0<br>WAN/LAN ポート<br>eth1<br>無線LAN(WLAN) | modem |
| **ゲートウェイ** | ゲートウェイアドレスを入力します。<br>※メイン回線「eth0」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| **DNS 設定** | DNS サーバーのアドレスを自動／手動で選択します。 | 自動<br>自動で DNS を取得します。<br>手動<br>手動で DNS を設定します。 | 自動 |
| **プライマリ DNS** | プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを選択します。<br>※DNS 設定「手動」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| **セカンダリ DNS** | セカンダリ DNS サーバーの IP アドレ スを選択します。<br>※DNS 設定「手動」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |

## 3.2.6　リンクバックアップ

画面ナビ　ネットワーク ＞ リンクバックアップ

WAN 側のメイン回線に障害があった場合に、バックアップ回線へ切り替えるための設定を行います。
「追加」をクリックするとルールを追加できます。
「編集」をクリックすると追加したルールを編集でき、「削除」をクリックすると削除します。
「無効」をクリックすると、追加したルールは保持されたまま、無効にします。

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **ステータス** | ステータスの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| **ルール番号** | ルール番号を入力します。 | 0～9 | － |
| **回線種別** | メイン回線／バックアップ回線を選択します。 | main<br>backup | main |
| **バックアップモード** | バックアップ回線の動作モードを選択します。 | cold<br>バックアップ回線が接続していない状態<br>hot<br>バックアップ回線が接続している状態 | cold |
| **疎通判定時間** | タイムアウト時間を入力します。 | 1～65535(秒) | － |
| **回線選択** | WAN 側の回線を選択します。 | modem 0<br>モバイル回線<br>eth0<br>WAN/LAN ポート<br>eth1<br>無線LAN(WLAN) | modem |
| **疎通確認方法** | 疎通確認方法を選択します。 | icmp | icmp |

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **送信先アドレス/ドメイン** | 疎通確認の送信先アドレスまたはドメインを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字<br>または<br>ドメイン名<br>最大 64 文字 | － |
| **疎通確認間隔** | 疎通確認を実施する間隔を入力します。 | 1～65535（秒） | － |
| **リトライ回数** | 疎通確認を再試行する回数を入力します。 | 1～65535 | － |

## メモ

・ 最大 10 件まで設定することができます。

## 3.2.7　DHCP

画面ナビ　ネットワーク ＞ DHCP

DHCP に関する設定を行います。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| DHCP | | DHCP サーバーの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効<br>無効にすると本製品に接続できなくなる可能性があります。 | 有効 |
| 基本設定 | ドメイン名 | 任意のドメイン名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 32 文字 | － |
| | IP プール | 本製品に接続された機器に割り当てるプライベート IP アドレスの範囲を選択します。 | br0<br>手動<br>手動でIPプールを設定します。 | br0 |
| | ゲートウェイタイプ | 本製品のゲートウェイタイプを選択します。 | default<br>手動<br>手動でゲートウェイを設定します。 | default |
| | DNS 設定 | DNS サーバーのアドレスの自動／手動を選択します。 | default<br>modem<br>モバイル回線<br>eth0<br>WAN/LAN ポート<br>手動<br>手動で DNS を設定します。 | default |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | リースタイム | 無線 LAN(WLAN)機器に割り当てた IP アドレスのリースタイムを入力します。 | 120～86400(秒) | 3600 |
| IPv4 Map | IP アドレス | 特定の機器に割り当てる IP アドレスを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | MACアドレス | 特定機器の MAC アドレスを入力します。 | 00:00:00:00:00:00 ～ FF:FF:FF:FF:FF:FF | － |

## メモ

・ 本設定を変更する場合は、必ず変更後の設定値を控えてください。DHCP アドレスの変更や DHCP サーバ機能を無効にすると本製品に接続できなくなる可能性があります。

# 3.3 IPv6

## 3.3.1 LAN

画面ナビ IPv6 ＞ LAN

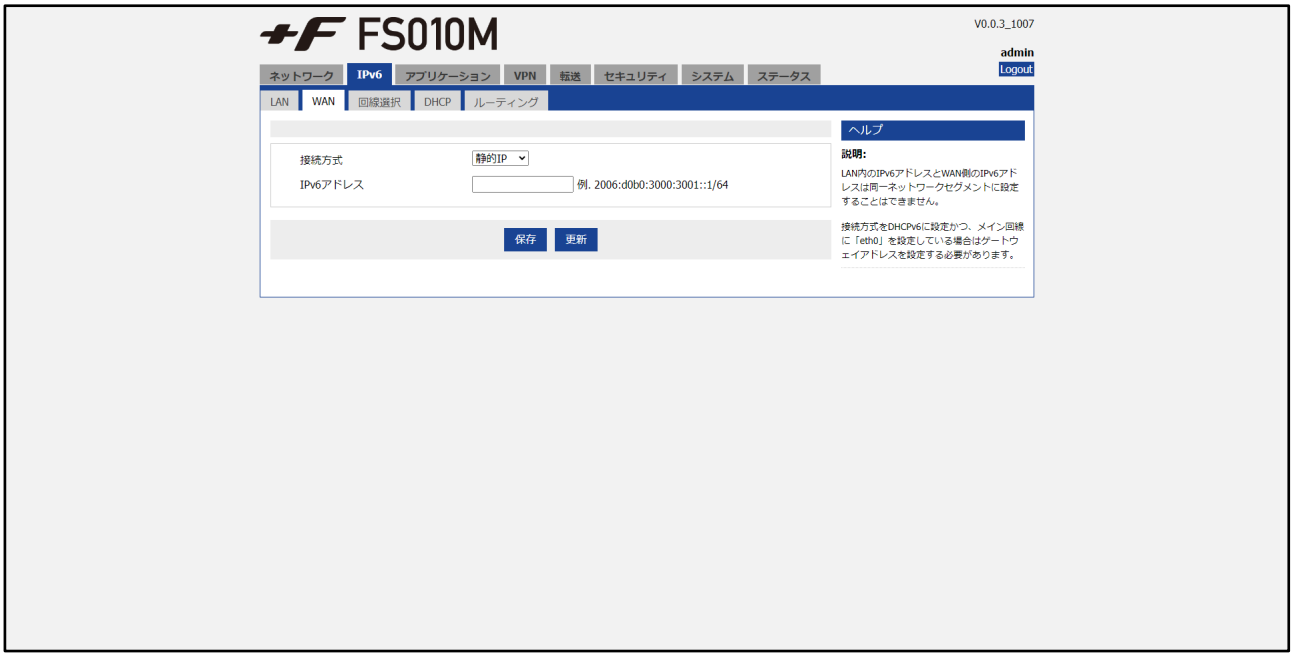
LAN ポートの IPv6 に関する設定を行います。

| 表示項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **IPv6 アドレス** | 本製品の IPv6 アドレスとサブネットマスクを入力します。 | 0000 ～ ffff の 8 組の英数字(16 進数)と 1～64 の数字 | 2001:d0b0:3000:3001::1/64 |

## 3.3.2 WAN

画面ナビ IPv6 ＞ WAN

WAN/LAN ポートが WAN 選択時の IPv6 に関する設定を行います。




| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **接続方式** | WAN/LAN ポートの WAN 選択時の IPv6 に関する選択をします。 | 静的 IP<br>DHCPv6<br>PPPoEv6 | 静的 IP |
| **IPv6アドレス** | 静的 IP 選択時、WAN 側の IPv6 アドレスを入力します。 | 0000 ～ ffff の 8 組の英数字(16 進数)と 1～64 の数字 | － |

**PPPoE 選択**

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **プロファイル名** | プロファイル名が表示されます。<br>※設定変更不可 | pppoe | pppoe |
| **サービス名** | 任意のサービス名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| **ユーザー名** | 事業者から指定されたユーザー名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| **パスワード** | 事業者から指定されたパスワードを入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |

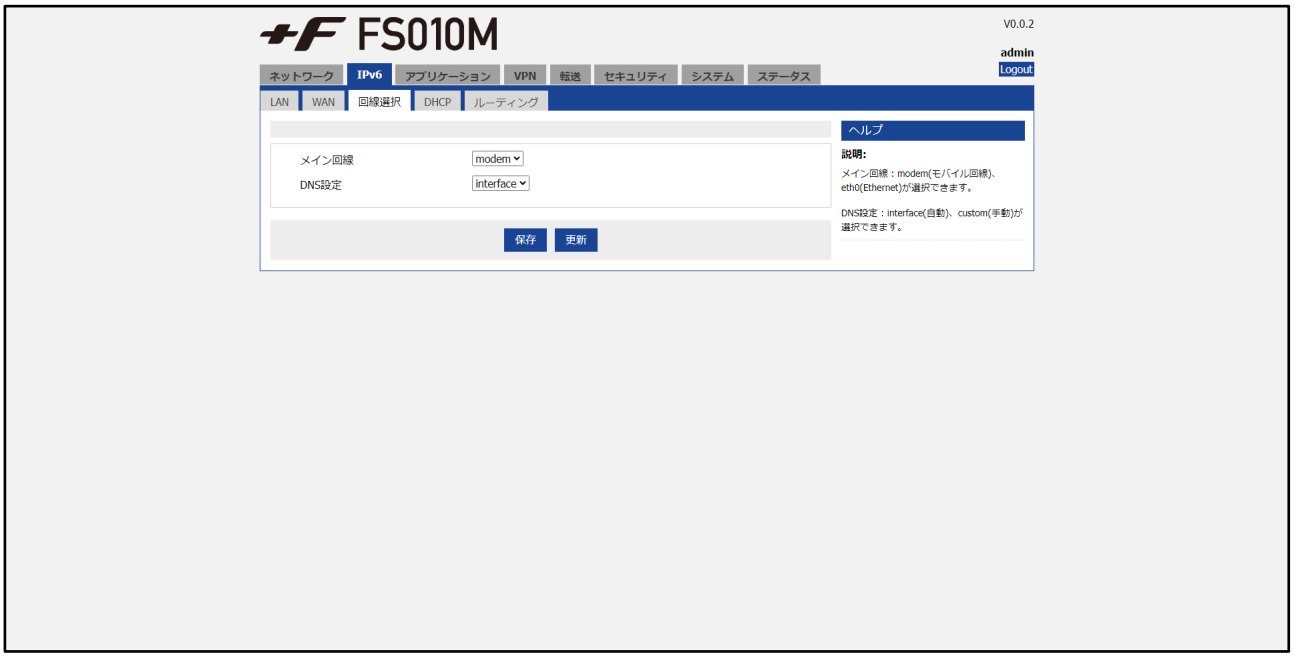
PPPoE 選択(詳細表示)

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 認証 | CHAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | PAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | MS-CHAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | MS2-CHAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | EAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| 圧縮 | 圧縮制御プロトコル | 圧縮制御プロトコルの有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| | アドレス/コントロール圧縮 | アドレス/コントロール圧縮の有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| | プロトコルフィールド圧縮 | プロトコルフィールド圧縮の有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| | VJ ヘッダー圧縮 | VJヘッダー圧縮の有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| | ID 接続圧縮 | ID接続圧縮の有効/無効を選択します。 | 許可<br>無効 | 無効 |
| その他 | デバッグログ設定 | PPP接続ログの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | 対向 DNS | 対向のDNSクライアントの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | LCP 送信間隔 | 外部IPアドレスと接続確認を行う間隔を入力します。 | 1～512(秒) | － |
| | LCP 再試行回数 | 疎通確認を再試行する回数を入力します。 | 1～512 | － |
| | MTU | MTU値を入力します。 | 128～1500 | － |
| | MRU | MRU値を入力します。 | 128～1500 | － |
| | ローカル IP アドレス | ローカルIPアドレスを固定にする場合、入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | リモート IP アドレス | リモートIPアドレスを固定にする場合、入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |

## 3.3.3 回線選択

画面ナビ IPv6 ＞ 回線選択

WAN 側(IPv6)の通信インターフェースを設定します。
メイン回線(モバイル回線／有線 LAN)の選択、DNS の設定を行います。




| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **メイン回線** | WAN 側の接続メイン回線を選択します。 | modem<br>モバイル回線<br>eth0<br>WAN/LAN ポート | modem |
| **DNS 設定** | DNS サーバーのアドレスを自動／手動を選択します。 | 自動<br>自動で DNS を取得します。<br>手動<br>手動で DNS を設定します。 | 自動 |
| **プライマリ DNS(IPv6)** | プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。<br>※DNS 設定「手動」選択時に表示されます。 | 0000 ～ ffff の 8 組の英数字(16 進数)と<br>1～64 の数字 | － |
| **セカンダリ DNS(IPv6)** | セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。<br>※DNS 設定「手動」選択時に表示されます。 | 0000 ～ ffff の 8 組の英数字(16 進数)と<br>1～64 の数字 | － |

## 3.3.4 DHCP

画面ナビ IPv6 ＞ DHCP

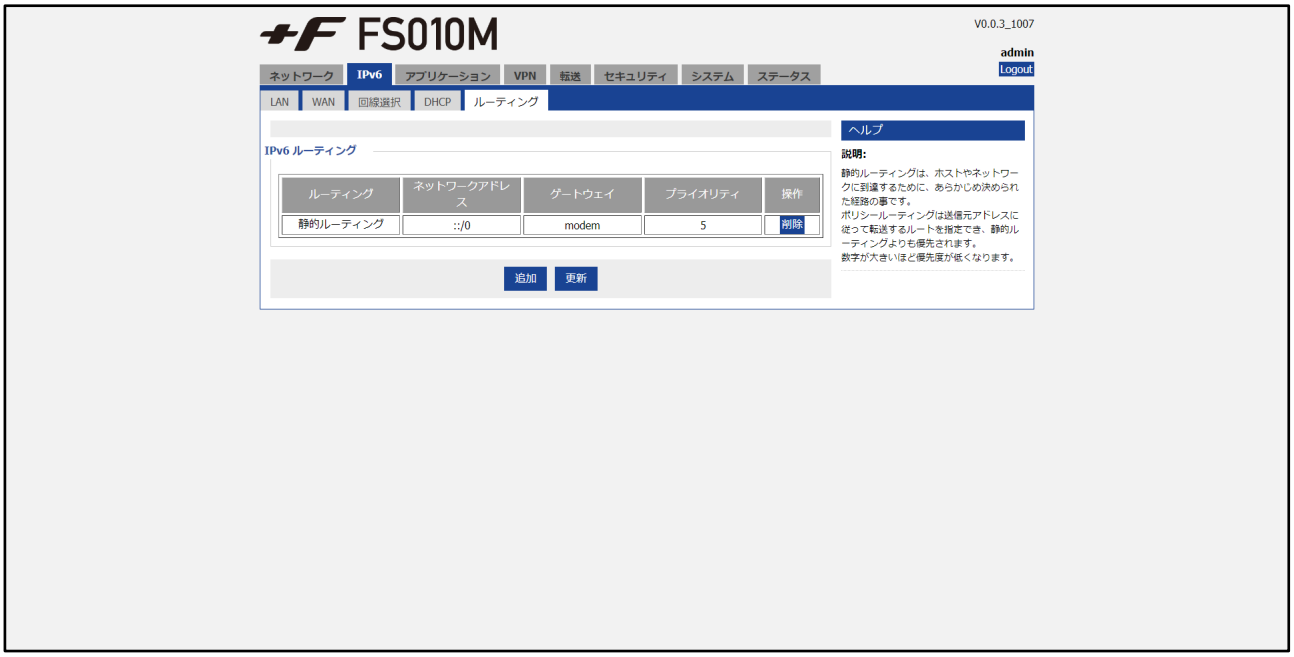
IPv6 のDHCP設定を行います。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| DHCP(IPv6) | | DHCP(IPv6)の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効<br>無効にすると本製品に接続できなくなる可能性があります。 | 有効 |
| 基本設定 | IPv6 アドレス | IPv6プールアドレスの範囲を選択します。 | stateful | stateful |
| | 開始 IP アドレス | IPv6プールアドレスの範囲を入力します。(開始) | 0000 ～ ffff の 8 組の英数字 (16 進数) | 2001:d0b0:3000:3001::2 |
| | 終了 IP アドレス | IPv6プールアドレスの範囲を入力します。(終了) | 0000 ～ ffff の 8 組の英数字 (16 進数) | 2001:d0b0:3000:3001::ffff |
| | DNS 設定 | DNS 設定を選択します。 | default<br>modem<br>モバイル回線<br>eth0<br>WAN/LAN ポート<br>手動<br>手動で DNS を設定します。 | default |
| | リースタイム | 無線 LAN(WLAN)機器に割り当てた IP アドレスのリースタイムを入力します。 | 120～86400(秒) | 600 |

## 3.3.5　ルーティング

画面ナビ　IPv6 ＞ ルーティング

IPv6のポリシールーティングの設定を行います。




| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | ネットワークアドレス | 送信先 IPv6 アドレスを入力します。 | 0000 ～ ffff の 8 組の英数字(16 進数)と 1～64 の数字 | － |
| | 送信元 | 送信元を選択します。 | 静的 IP アドレス | 静的 IP アドレス |
| | | | Interface | |
| | 送信元インターフェース | 送信元のインターフェースを選択します。<br>※送信元「Interface」選択時に表示されます。 | modem<br>モバイル回線 | modem |
| | | | eth1<br>無線LAN(WLAN) | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| | ゲートウェイ | 送信元 IPv6アドレスを入力します。<br>※送信元「静的 IP アドレス」選択時に表示されます。 | 0000 ～ ffff の 8 組の英数字(16 進数)と 1～64 の数字 | － |
| | プライオリティ | ルーティングの優先度を入力します。 | 3～252 | － |

# 3.4 アプリケーション

## 3.4.1 ICMP 疎通確認

画面ナビ アプリケーション ＞ ICMP 疎通確認

ネットワークにつながらなくなった場合に、本製品を再起動する設定を行います。
「追加」をクリックするとルールを追加できます。
「編集」をクリックすると追加したルールを編集でき、「削除」をクリックすると削除します。
「無効」をクリックすると、追加したルールは保持されたまま、無効にします。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| ICMP 疎通確認 | | ICMP 疎通確認の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| 基本設定 | ルール番号 | 任意のルール番号を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 12 文字 | – |
| | 疎通確認プロトコル | 疎通確認プロトコルを選択します。 | icmp<br>icmp 固定 | icmp |
| | 送信先アドレス | 疎通確認用アドレスまたはドメイン名を入力します。 | 0～255 の 4 組の数字<br>または<br>ドメイン名<br>最大 64 文字 | 114.114.114.114 |
| | バックアップアドレス | バックアップ用のアドレスまたはドメイン名を入力します。 | 0～255 の 4 組の数字<br>または<br>ドメイン名<br>最大 64 文字 | – |
| | 疎通確認間隔 | 疎通確認を実施する間隔を入力します。 | 1～65535(秒) | – |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **基本設定** | **リトライ回数** | 疎通確認をリトライする回数を入力します。<br>成功するまで連続で試行し、再試行回数をすべて失敗すると「障害時の動作」を実行します。 | 1～65535 | − |
| | **送信元インターフェース** | 使用するインターフェースを選択します。 | default | default |
| | | | br0 | |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| | **障害時の動作** | 障害を検知した時の動作を選択します。 | modem-reset | modem-reset |
| | | | reboot | |

## 3.4.2 DDNS

画面ナビ アプリケーション > DDNS

DDNS の設定を行います。
DDNS とは、通信事業者から割り当てられた IP アドレスが変更された場合でも、
固定のホスト名を設定することで IP アドレスとホスト名とつなぐことができる機能です。
遠隔監視など、固定グローバル IP アドレスがない環境でも遠隔接続ができます。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| DDNS | | DDNS の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| 基本設定 | サービスプロバイダー | DDNSサービスを利用する、プロバイダーを選択します。 | 88ip<br>noip | 88ip |
| | DDNS サーバーポート | DDNSに接続するポートを入力します。 | 1～65535 | – |
| | ユーザー名 | サービスプロバイダーに登録するためのユーザー名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | – |
| | パスワード | サービスプロバイダーに登録するためのパスワードを入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | – |
| | ドメイン名 | DDNSに設定するドメイン名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | – |
| | 更新間隔 | DDNSサーバーにIPアドレスを通知する時間を入力します。 | 120～86400（秒） | – |

### メモ

・ ホスト名、ユーザー名、パスワードについてはご利用するサービスプロバイダーにお問い合わせください。

## 3.4.3 SNMP

画面ナビ アプリケーション ＞ SNMP

SNMP に関する基本的な設定を行います。
SNMP を設定することで遠隔からルーターの状態などが監視できます。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **SNMP** | | SNMP の有効/無効を選択します。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |
| **基本設定** | **SNMP バージョン** | SNMPバージョンを選択します。 | SNMPv2c | SNMPv2c |
| | | | SNMPv3 | |
| | **ポート番号** | SNMPポートを入力します。 | 1～65535 | 161 |
| | **コミュニティ名** | コミュニティ名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 24 文字 | － |
| | **Trap 送信先 IP アドレス** | SNMPトラップの送信先のサーバーアドレスを入力します。 | 0～255 の<br>4 組の数字 | － |
| | **Trap 送信先 ポート番号** | SNMPトラップの送信先のサーバーポート番号を入力します。 | 1～65535 | 162 |
| | **送信元 インターフェース** | 送信元インターフェースを選択します。 | default | default |
| | | | br0 | |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| **基本設定** | **ループバック 状態** | SNMPの送信元アドレスにループバックアドレスを設定します。<br>※テスト環境などでの確認で使用してください。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |

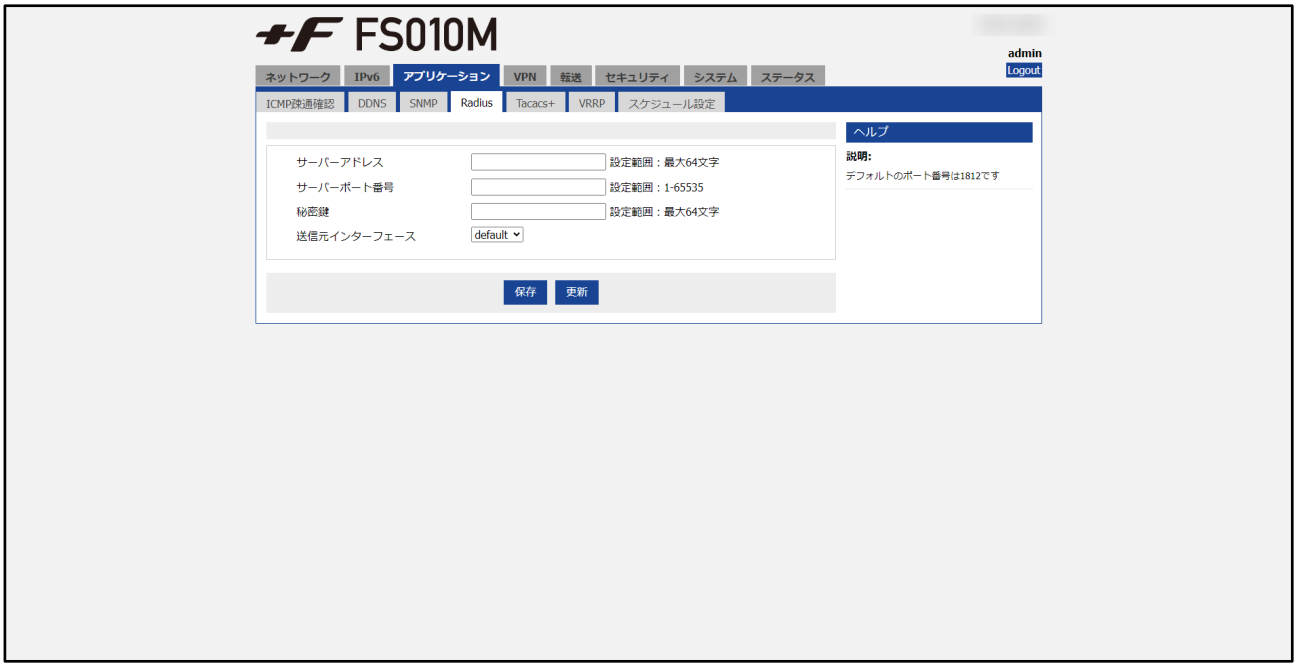
**SNMPv3 選択**

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **SNMPv3 設定** | **セキュリティレベル** | SNMPのセキュリティレベルを選択します。 | Auth Priv | Auth Priv |
| | | | Auth NoPriv | |
| | | | NoAuth NoPriv | |
| | **ユーザー名** | ユーザー名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 32 文字 | − |
| | **パスワード** | パスワードを入力します。 | 半角英数字記号<br>8~32 文字 | − |
| | **ハッシュアルゴリズム** | ハッシュ値を選択します。 | MD5 | MD5 |
| | | | SHA | |
| | **暗号化** | 暗号を選択します。 | AES | AES |
| | | | DES | |
| | **暗号化キー** | 暗号化キーを入力します。 | 半角英数字記号<br>8~32 文字 | − |

## 3.4.4 Radius

画面ナビ アプリケーション ＞ Radius

Radius サーバーの設定を行います。

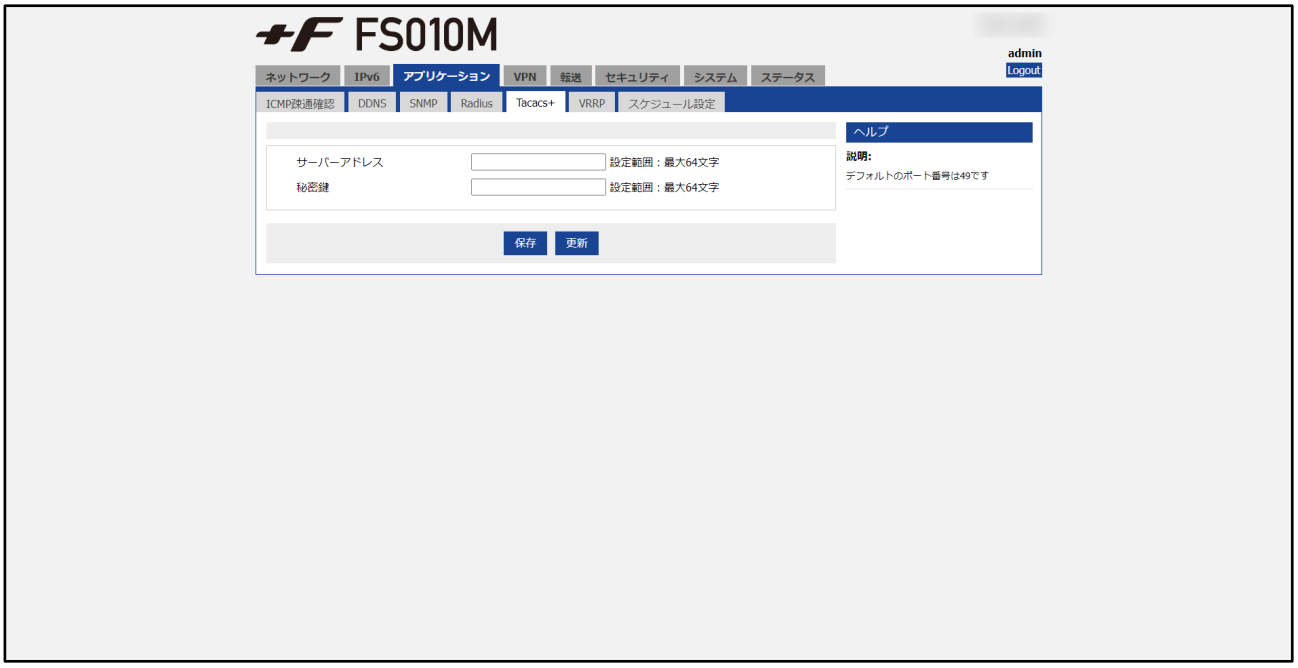



| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **サーバーアドレス** | サーバーアドレスを入力します。 | 0～255 の<br>4 組の数字 | － |
| **サーバーポート番号** | サーバーのポート番号を入力します。 | 1～65535 | － |
| **秘密鍵** | 秘密鍵を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| **送信元インターフェース** | 送信元インターフェイスを設定します。 | default | default |
| | | br0 | |
| | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |

## 3.4.5　Tacacs

画面ナビ　アプリケーション ＞ Tacacs

Tacacs サーバの設定を行います。




| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **サーバーアドレス** | サーバードレスを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | – |
| **秘密鍵** | サーバーとの秘密鍵を設定します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | – |

## 3.4.6　VRRP 設定

画面ナビ　アプリケーション ＞ VRRP

VRRP の基本的な設定を行います。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **VRRP** | | VRRPの有効/無効を選択します。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |
| **基本設定** | **仮想インターフェース** | 仮想インターフェースを選択します。 | br0<br>br0 固定 | br0 |
| | **仮想IP アドレス** | 仮想IPアドレスを設定します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | **VRID** | VRIDを設定します。 | 1～254 の数字 | － |
| | **プライオリティー** | 優先度を設定します。 | 1～254 の数字 | － |
| | **通知タイマー** | Advertisement Intervalの通知タイマーを設定します。 | 1～255 の数字 | － |
| | **状態** | VRRP状態を表示します。 | Initlaize | － |
| | | | Master | |
| | | | Backup | |

## 3.4.7　スケジュール設定

画面ナビ　アプリケーション ＞ スケジュール設定

本製品を自動的に再起動させる設定を行います
「追加」をクリックすると設定を追加できます。
「編集」をクリックすると追加した設定を編集でき、「削除」をクリックすると削除します。
「無効」をクリックすると、追加した設定は保持されたまま、無効にします。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **スケジュール設定** | | スケジュール設定の有効/無効を選択します。 | 有効 | 有効 |
| | | | 無効 | |
| **基本設定** | **設定名** | 任意の設定名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 24 文字 | － |
| | **設定動作** | タスクのタイプを選択します。 | modem-online<br>モジュールの再起動 | modem-online |
| | | | reboot<br>本製品の再起動 | |

## ■ 制御タイプの設定

・range：タスクタイプを実行するスケジュールを設定します。
・interval：タスクタイプを実行する間隔を設定します。

**range 選択**

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| スケジュール設定 | スケジュール設定 | スケジュール設定を選択します。 | range<br>スケジュールを設定し動作します。<br>interval<br>間隔を設定し動作します。 | range |
| | 時刻 | スケジュールを実行する時間を入力します。<br>※始まりと終わりの時間を入力してください。 | 00:00～23:59 | － |
| | 日 | スケジュールを実行する日付を入力します。<br>※始まりと終わりの日付を入力してください。 | 01～31 | － |
| | 週 | スケジュールを実行する週を入力します。<br>1＝日曜日<br>2＝月曜日<br>3＝火曜日<br>4＝水曜日<br>5＝木曜日<br>6＝金曜日<br>7＝土曜日<br>※始まりと終わりの週を入力してください。 | 1～7 | － |

**interval 選択**

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| スケジュール設定 | スケジュール設定 | 制御タイプを選択します。 | range<br>スケジュールを設定し動作します。<br>interval<br>間隔を設定し動作します。 | range |
| | 周期間隔 | 送信間隔を入力します。 | 1～65535(分) | － |

# 3.5 VPN

## 3.5.1 VPDN

画面ナビ VPN ＞ VPDN

VPDN の設定を行います。
「追加」をクリックすると VPDN を追加できます。
「編集」をクリックすると追加した VPDN を編集でき、「削除」をクリックすると削除します。
「表示」をクリックすると追加した VPDN が表示します。
「無効」をクリックすると、追加した VPDN は保持されたまま、無効にします。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| チャンネルキー | | チャンネルキーを入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | − |
| VPDN | | VPDN の有効/無効を選択します。 | 有効 | 有効 |
| | | | 無効 | |
| 基本設定 | VPDN 名 | 任意のVPDN名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 8 文字 | − |
| | プロトコル | プロトコルを選択します。 | l2tp | l2tp |
| | | | pptp | |
| | サーバーアドレス | VPNサーバーのIPアドレス、またはドメイン名を入力します。 | 0～255 の 4 組の数字<br>または<br>ドメイン名<br>最大 64 文字 | − |
| | ユーザー名 | VPNサーバーに接続するためのユーザー名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | − |
| | パスワード | VPNサーバーに接続するためのパスワードを入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | − |

詳細表示

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 認証 | CHAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | PAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | MS-CHAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | MS2-CHAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | EAP | 事業者から指定された認証方式の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| 圧縮 | 圧縮制御プロトコル | 圧縮制御プロトコルの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | アドレス/コントロール圧縮 | アドレス/コントロール圧縮の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | プロトコルフィールド圧縮 | プロトコルフィールド圧縮の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | VJ ヘッダー圧縮 | VJ TCP/IPヘッダー圧縮の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | ID 接続圧縮 | ID接続圧縮の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| その他 | デバッグ | PPP接続ログの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | PEERDNS | 対向のDNSクライアントの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| | LCP 間隔 | 外部IPアドレスと接続確認を行う間隔を入力します。 | 1～512(秒) | － |
| | LCP 再試行 | 疎通確認を再試行する回数を入力します。 | 1～512 | － |
| | MTU | MTU値を入力します。 | 128～1500 | － |
| | MRU | MRU値を入力します。 | 128～1500 | － |
| | ローカル IP | ローカルIPアドレスを固定にする場合、入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | リモート IP | リモートIPアドレスを固定にする場合、入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |

## 3.5.2　トンネル設定

画面ナビ　VPN ＞ トンネル設定

トンネル設定を行います。
パケットをカプセル化して送受信することができます。
「追加」をクリックするとトンネルを追加できます。
「編集」をクリックすると追加したトンネルを編集でき、「削除」をクリックすると削除します。
「表示」をクリックすると追加したトンネルが表示します。
「無効」をクリックすると、追加したトンネルは保持されたまま、無効にします。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| トンネル | | トンネルの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| 基本設定 | トンネル名 | 任意のプロファイル名を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 24 文字 | － |
| | トンネルモード | トンネルのプロトコルを選択します。 | gre<br>ipip | gre |
| | 仮想 IP アドレス（ローカル） | 仮想IPアドレス(ローカル)を入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | 仮想 IP アドレス（ピア） | 仮想IPアドレス(ピア)を入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | インターフェースタイプ | インターフェースタイプを選択します。 | 静的 IP アドレス<br>Interface | 静的 IP アドレス |
| | 外部 IP アドレス（ローカル） | 外部ネットワークに接続するIPアドレスを選択します。<br>※インターフェースタイプ「静的 IP アドレス」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | 外部IPインターフェース（ローカル） | 外部ネットワークに接続するインターフェースを選択します。<br>※インターフェースタイプ「インターフェース」選択時に表示されます。 | modem<br>モバイル回線<br>eth0<br>WAN/LAN ポート | modem |
| | ピアの外部 IP アドレス | ピアトンネル側の外部ネットワークに接続するIPアドレスを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | トンネルキー | トンネルキーを入力してください。<br>※トンネルモード「gre」選択時に表示されます。 | 0～4294967295 | － |
| | キープアライブ間隔 | 外部IPアドレスと接続確認を行う間隔を入力します。<br>※トンネルモード「gre」選択時に表示されます。 | 1～32767 | － |
| | キープアライブ再試行回数 | 疎通確認を再試行する回数を入力します。<br>※トンネルモード「gre」選択時に表示されます。 | 1～255 | － |

## 3.5.3 IPSec 設定

画面ナビ VPN ＞ IPSec 設定

IPSec を使った VPN の設定を行います。
「追加」をクリックすると IPSec を追加できます。
「編集」をクリックすると追加した IPSec を編集でき、「削除」をクリックすると削除します。

### ■ Phase1 設定

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | 選択 | 項目の選択をします。 | Phase1<br>Phase2<br>IPSec | − |
| | ポリシー名 | Phase1の任意の名前を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 12 文字 | − |
| | 動作モード | 動作モードを選択します。 | main<br>aggr | main |
| | 暗号化方式 | 暗号化方式を選択します。 | des<br>3des<br>aes256<br>aes192<br>aes128 | des |
| | ハッシュアルゴリズム | ハッシュアルゴリズムを選択します。 | md5<br>sha1<br>sha2_256<br>sha2_512 | md5 |
| | IKE | IKEのバージョンを選択します。 | ikev1<br>ikev2 | ikev1 |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | 事前共有鍵 | 事前共有鍵を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | − |
| | ローカル識別子 | ローカル識別子を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | − |
| | リモート識別子 | リモート識別子を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | − |
| | ライフタイム（IKE） | IKEの有効時間を入力します。 | 120-86400(秒) | 28800 |
| | DH グループ | DHグループを選択します。 | group768<br>group1024<br>group1536<br>group2048<br>group3072<br>group4096 | group768 |
| | DPD 設定 | DPD設定の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | 検出間隔 | 検出間隔を入力します。 | 1～512(秒) | 30 |
| | 再試行回数 | 再試行する回数を入力します。 | 1～512 | 4 |

## Phase2 設定

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | 選択 | 項目の選択をします。 | Phase1<br>Phase2<br>IPSec | − |
| | ポリシー名 | Phase2の任意の名前を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 12 文字 | − |
| | 暗号プロトコル | 暗号プロトコルを選択します。 | esp<br>esp 固定 | esp |
| | 暗号化方式 | 暗号化方式を選択します。 | des<br>3des<br>aes256<br>aes192<br>aes128 | des |
| | ハッシュアルゴリズム | ハッシュアルゴリズムを選択します。 | md5<br>sha1<br>sha2_256<br>sha2_512 | md5 |
| | PFS | 認証を選択します。 | open<br>close | open |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | DH グループ | DHグループを選択します。 | group768 | group768 |
| | | | group1024 | |
| | | | group1536 | |
| | | | group2048 | |
| | | | group3072 | |
| | | | group4096 | |
| | ライフタイム | ライフタイムを入力します。 | 120～86400(秒) | 3600 |
| | プロトコル:ポート番号(ローカル) | 本製品が利用するプロトコル番号とポート番号を設定します。 | 0～65535 | － |
| | プロトコル:ポート番号(リモート) | 接続先が利用するプロトコル番号とポート番号を設定します。 | 0～65535 | － |
| | 転送モード | 転送モードを選択します。 | 自動 | 自動 |
| | | | 転送 | |
| | | | トンネル | |
| | ローカルサブネット | 本製品のサブネットマスクを入力します。<br>※転送モード「自動またはトンネル」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字と<br>1～32 の数字 | － |
| | リモートサブネット | 接続先のサブネットマスクを入力します。<br>※転送モード「自動またはトンネル」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字と<br>1～32 の数字 | － |

## IPSec 設定

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | 選択 | 項目の選択をします。 | Phase1 | － |
| | | | Phase2 | |
| | | | IPSec | |
| | インターフェース名 | IPSecの任意の名前を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 12 文字 | － |
| | Phase1選択 | Phase1で設定した項目を選択します。 | ※Phase1 で設定した項目が表示されます。 | － |
| | Phase2選択 | Phase2で設定した項目を選択します。 | ※Phase2 で設定した項目が表示されます。 | － |
| | IPSecサーバーアドレス | IPSecサーバーのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。 | 0～255 の 4 組の数字または<br>ドメイン名<br>最大 64 文字 | － |
| | 暗号化インターフェース | 暗号化する接続インターフェースを選択します。 | br0 | br0 |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |

## 3.5.4 DMVPN 設定

画面ナビ VPN ＞ DMVPN 設定

DMVPN の設定を行います。
「追加」をクリックすると DMVPN を追加できます。
「編集」をクリックすると追加した DMVPN を編集でき、「削除」をクリックすると削除します。
「表示」をクリックすると追加した DMVPN が表示します。
「無効」をクリックすると、追加した DMVPN は保持されたまま、無効にします。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **DMVPN** | | DMVPN の有効/無効を選択します。 | 有効 | 有効 |
| | | | 無効 | |
| **基本設定** | **DMVPN 名** | 任意のDMVPN名を入力します。 | 0～3 | － |
| | **サーバーアドレス** | サーバーアドレスを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | **仮想 IP アドレス（ローカル）** | 仮想IPアドレス(ローカル)を入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | **仮想 IP アドレス（ピア）** | 仮想IPアドレス(ピア)を入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | **トンネルキー** | トンネルキーを入力してください。 | 0～4294967295 | － |
| | **MTU** | MTU値を入力します。 | 128～1500 | － |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | ネゴシエーション モード | 動作モードを選択します。 | main | main |
| | | | aggr | |
| | IKE | IKEのバージョンを選択します。 | ikev1 | ikev1 |
| | | | ikev2 | |
| | 暗号化方式 | 暗号化方式を選択します。 | des | des |
| | | | 3des | |
| | | | aes256 | |
| | | | aes192 | |
| | | | aes128 | |
| | ハッシュ アルゴリズム | ハッシュアルゴリズムを設定します。 | md5 | sha1 |
| | | | sha1 | |
| | | | sha2_256 | |
| | | | sha2_512 | |
| | DH グループ | DHグループを選択します。 | group768 | group768 |
| | | | group1024 | |
| | | | group1536 | |
| | | | group2048 | |
| | | | group3072 | |
| | | | group4096 | |
| | ライフタイム (IKE) | IKEのライフタイムを入力します。 | 120～86400(秒) | － |
| | 事前共有鍵 | 事前共有鍵を入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| | ライフタイム | ライフタイムを入力します。 | 120～86400(秒) | － |
| | SA アルゴリズム | SAアルゴリズムを選択します。 | des-sha1 | des-sha1 |
| | | | des-sha2_256 | |
| | | | des-md5 | |
| | | | 3des-sha1 | |
| | | | 3des-sha2_256 | |
| | | | 3des-md5 | |
| | | | aes128-sha1 | |
| | | | aes128-sha2_256 | |
| | | | aes128-md5 | |
| | | | aes192-sha1 | |
| | | | aes192-sha2_256 | |
| | | | aes192-md5 | |
| | | | aes256-sha1 | |
| | | | aes256-sha2_256 | |
| | | | aes256-md5 | |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | PFS | PFSグループを選択します。 | close | close |
| | | | group768 | |
| | | | group1024 | |
| | | | group1536 | |
| | | | group2048 | |
| | | | group3072 | |
| | | | group4096 | |
| | 転送モード | 転送モードを選択します。 | transport | transport |
| | | | tunnel | |
| | 暗号化インターフェース | 暗号化する接続インターフェースを選択します。 | auto | auto |
| | | | br0 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | NHRP 認証 | NHAP認証キーを入力します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | − |
| | NHRP ホールドタイム | NHRPの保有期間を入力します。 | 1～65535 | − |
| | NHRP マルチキャスト | NHRPマルチキャストの有効/無効を選択します。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |
| | NHRP リダイレクト | NHRPリダイレクトの有効/無効を選択します。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |

# 3.6 転送

## 3.6.1 NAT

画面ナビ 転送 ＞ NAT

NAT の設定を行います。
「追加」をクリックすると NAT を追加できます。
「編集」をクリックすると追加した NAT を編集でき、「削除」をクリックすると削除します。

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| NAT サービス | NAT サービスの有効/無効を選択します。 | 有効 | 有効 |
| | | 無効 | |

**NAT タイプ　DNAT 選択**

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **基本設定** | **NAT タイプ** | NATタイプを選択します。 | DNAT | DNAT |
| | | | SNAT | |
| | | | MASQ | |
| | | | DMZ | |
| | **プロトコル** | プロトコルを選択します。 | all | all |
| | | | tcp | |
| | | | udp | |
| | | | icmp | |
| | **変換前<br>アドレスタイプ** | アドレスタイプを選択します。 | interface | interface |
| | | | static | |
| | **インターフェース** | 使用する接続インターフェースを選択します。 | br0 | br0 |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| | | | eth1<br>無線LAN(WLAN) | |
| | **変換前<br>ポート番号** | ポート番号を入力します。 | 1～65535 | － |
| | **変換後<br>アドレス** | 変換後アドレスを入力します。 | 0～255 の<br>4 組の数字 | － |
| | **変換後<br>ポート番号** | 変換後ポート番号を入力します。 | 1～65535 | － |

SNAT 選択

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | NAT タイプ | NAT タイプを選択します。 | DNAT | DNAT |
| | | | SNAT | |
| | | | MASQ | |
| | | | DMZ | |
| | プロトコル | プロトコルを選択します。 | all | all |
| | | | tcp | |
| | | | udp | |
| | | | icmp | |
| | 変換前<br>アドレス | 変換前アドレスを入力します。 | 0～255 の<br>4 組の数字 | － |
| | 変換前<br>ポート番号 | 変換前ポート番号を入力します。 | 1～65535 | － |
| | 変換前<br>アドレスタイプ | アドレスタイプを選択します。 | interface | interface |
| | | | static | |
| | インターフェース | 使用する接続インターフェースを選択します。 | br0 | br0 |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| | | | eth1<br>無線LAN(WLAN) | |
| | 変換後<br>ポート番号 | 変換後ポート番号を入力します。 | 1～65535 | － |

MASQ 選択

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | NAT タイプ | NATタイプを選択します。 | DNAT | DNAT |
| | | | SNAT | |
| | | | MASQ | |
| | | | DMZ | |
| | インターフェース | 使用する接続インターフェースを選択します。 | br0 | br0 |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| | | | eth1<br>無線LAN(WLAN) | |

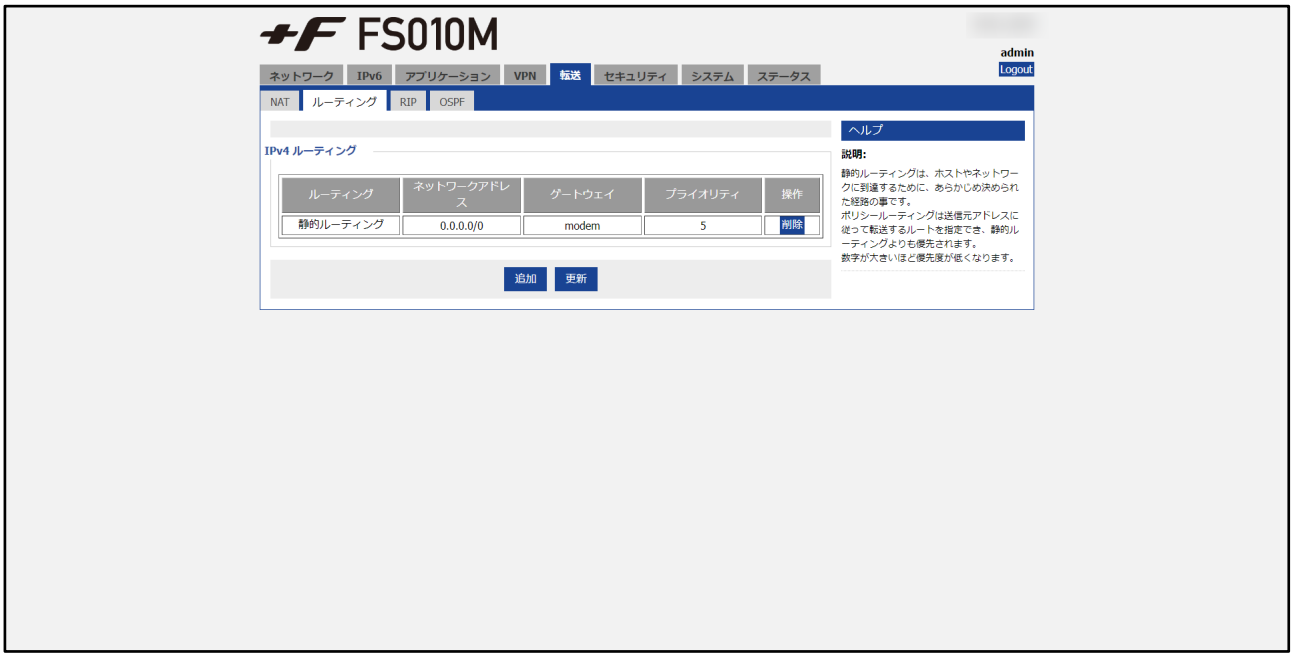
**DMZ 選択**

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **基本設定** | **NAT タイプ** | NATタイプを選択します。 | DNAT | DNAT |
| | | | SNAT | |
| | | | MASQ | |
| | | | DMZ | |
| | **インターフェース** | 使用する接続インターフェースを選択します。 | br0 | br0 |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| | | | eth1<br>無線LAN(WLAN) | |
| | **変換後アドレス** | 変換後アドレスを入力します。 | 0～255 の<br>4 組の数字 | － |

## 3.6.2　ルーティング

画面ナビ　転送 ＞ ルーティング

ルーティングの設定を行います。
「追加」をクリックするとルーティングを追加でき、「削除」をクリックすると削除します。




| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | ルーティング | ルーティングを選択します。 | 静的ルーティング<br>ポリシールーティング | 静的ルーティング |
| | ネットワークアドレス | ネットワークアドレスを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字と<br>1～32 の数字 | － |
| | ゲートウェイタイプ | ゲートウェイを選択します。 | 静的 IP<br>Interface | 静的 IP |
| | ゲートウェイ | ゲートウェイのIPアドレスを入力します。<br>※ゲートウェイ「静的 IP」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |
| | ゲートウェイ | ゲートウェイのインターフェースを選択します。<br>※ゲートウェイ「Interface」選択時に表示されます。 | br0<br>modem<br>モバイル回線<br>eth0<br>WAN/LAN ポート<br>eth1<br>無線LAN(WLAN) | br0 |
| | プライオリティ | 優先順位を入力します。 | 3～252 | － |

## 3.6.3 RIP

画面ナビ 転送 ＞ RIP

RIP の設定を行います。
「追加」をクリックすると RIP を追加でき、「削除」をクリックすると削除します。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| RIP | | RIP の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| 基本設定 | 再配布(接続ルート) | 再配布(接続ルート)の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | 再配布(静的ルート) | 再配布(静的ルート)の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | 再配布<br>(カーネルルート) | 再配布(カーネルルート)の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | タイプの追加 | タイプを選択します | ネットワークアドレス<br>ネイバーアドレス | － |
| | ネットワークアドレス | RIP のネットワークアドレスとサブネットマスクを入力します。<br>※タイプの追加「ネットワークアドレス」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字と 1～32 の数字 | － |
| | ネイバーアドレス | RIP のネイバーアドレスを入力します。<br>※タイプの追加「ネイバーアドレス」選択時に表示されます。 | 0～255 の 4 組の数字 | － |

## 3.6.4 OSPF

画面ナビ　転送 ＞ OSPF

OSPF の設定を行います。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| OSPF | | OSPF サービスの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| 基本設定 | 再配布(接続ルート) | 再配布(接続ルート)の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | 再配布(静的ルート) | 再配布(静的ルート)の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| | 再配布<br>(カーネルルート) | 再配布(カーネルルート)の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |

ネットワークアドレス選択

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | タイプの追加 | タイプを選択します | ネットワークアドレス<br>ネイバーアドレス<br>インターフェース | － |
| | ネットワークアドレス | OSPF のネットワークアドレスとサブネットマスクを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字と<br>1～32 の数字 | － |
| | エリア番号 | エリア番号を入力します。 | 0～65535 | － |

ネイバーアドレス選択

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | タイプの追加 | タイプを選択します | ネットワークアドレス | − |
| | | | ネイバーアドレス | |
| | | | インターフェース | |
| | ネットワークアドレス | OSPF のネットワークアドレスを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | − |

インターフェース選択

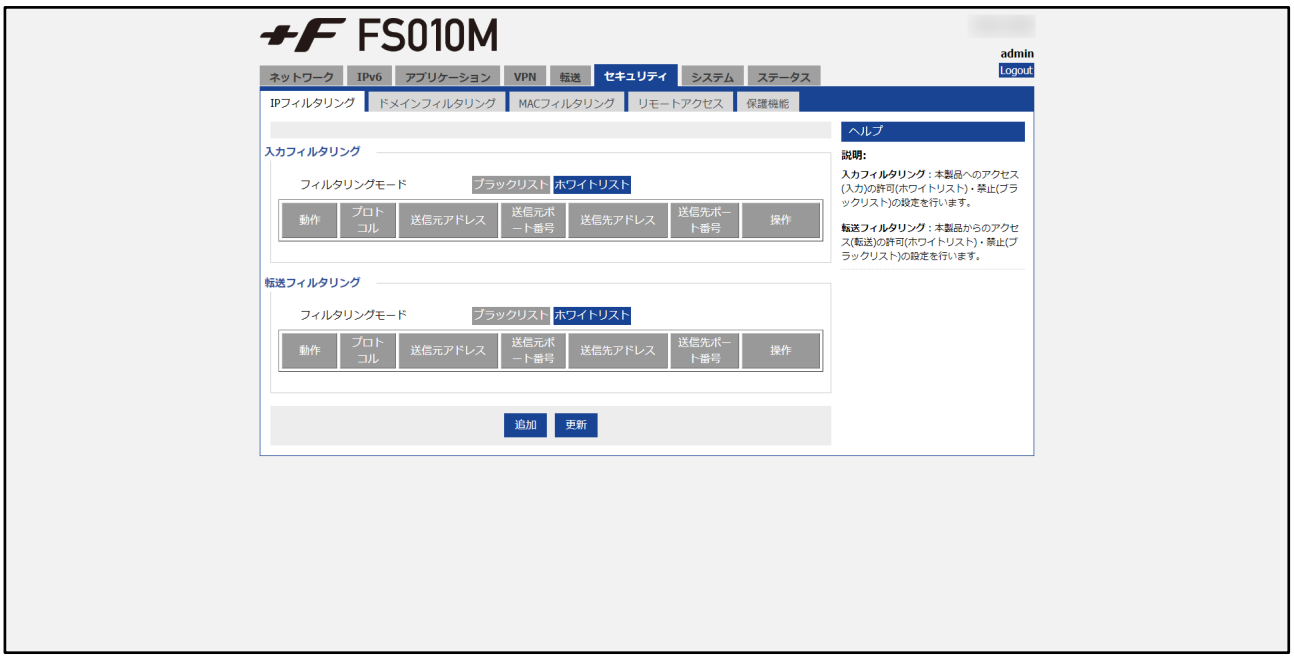
| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 基本設定 | タイプの追加 | タイプを選択します | ネットワークアドレス | − |
| | | | ネイバーアドレス | |
| | | | インターフェース | |
| | インターフェース名 | インターフェースを選択します。 | br0 | br0 |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| | | | eth1<br>無線LAN(WLAN) | |
| | 通信設定 | 通信設定を選択します。 | コスト | コスト |
| | | | ネットワークアドレス | |
| | コスト | コストを入力します。<br>※通信設定「コスト」選択時に表示されます。 | 1～65535 | − |
| | ネットワークタイプ | ネットワークタイプを選択します。<br>※通信設定「ネットワークアドレス」選択時に表示されます。 | broadcast | broadcast |
| | | | non-broadcast | |
| | | | point-to-multipoint | |
| | | | point-to-point | |

# 3.7 セキュリティ

## 3.7.1 IP フィルタリング

画面ナビ セキュリティ ＞ IP フィルタリング

IP フィルタリングの設定を行います。
追加した IP アドレスのアクセスを「許可」または「拒否」する設定ができます。
本設定を「許可」に設定すると追加した IP アドレスのみ接続することができます。
「追加」をクリックすると IP フィルターを追加でき、「削除」をクリックすると削除します。



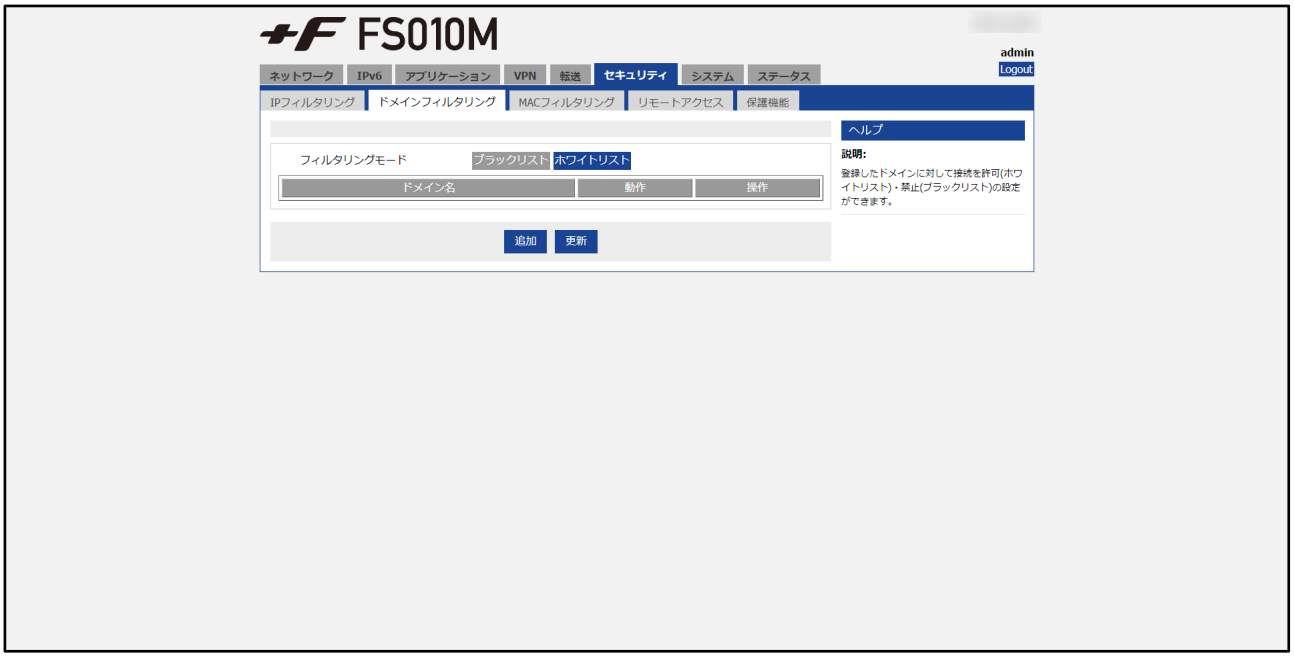

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 入力フィルタリング | フィルタリングモード | 入力フィルタリングを選択します。 | ブラックリスト | ブラックリスト |
| | | | ホワイトリスト | |
| 転送フィルタリング | フィルタリングモード | 転送フィルタリングを選択します。 | ブラックリスト | ブラックリスト |
| | | | ホワイトリスト | |
| 基本設定 | フィルタリングタイプ | フィルタリングタイプを選択します。 | 入力 | 入力 |
| | | | 転送 | |
| | フィルタリング動作 | 追加した IP アドレスのアクセスを選択します。 | 許可 | 許可 |
| | | | 拒否 | |
| | ミラールール | ミラールールの有効/無効を設定します。設定ルールと反対のルールが自動で追加されます。<br>※フィルタリングタイプ「転送」選択時に表示されます。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |
| | プロトコル | IP フィルタリングの対象とするプロトコルを選択します。 | all | all |
| | | | tcp | |
| | | | udp | |
| | | | icmp | |

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| **基本設定** | **送信元アドレス IP** | フィルタリングする通信の IP アドレスを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字と 1～32 の数字 | － |
| | **送信元ポート番号** | フィルタリングする通信のポート番号を入力します。 | 1～65535 | － |
| | **送信先アドレスタイプ** | インターフェースの手動設定もしくは自動設定を選択します。 | interface | interface |
| | | | any | |
| | **インターフェース** | フィルタリングするインターフェースを選択します。<br>※宛先 IP アドレスタイプ「interface」選択時に表示されます。 | br0 | br0 |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| | | | eth1<br>無線LAN（WLAN） | |
| | **送信先ポート番号** | IP フィルタリングの対象とするポート番号を入力します。 | 1～65535 | － |

## 3.7.2 ドメインフィルタリング

画面ナビ セキュリティ ＞ ドメインフィルタリング

ドメインフィルタリングを設定します。
ドメインフィルタリング機能は、ドメイン名を設定することで、該当 URL へのアクセスを制限できます。
本設定を「許可」に設定すると追加したドメイン名のみアクセスすることができます。
「追加」をクリックするとドメインフィルタリングを追加でき、「削除」をクリックすると削除します。

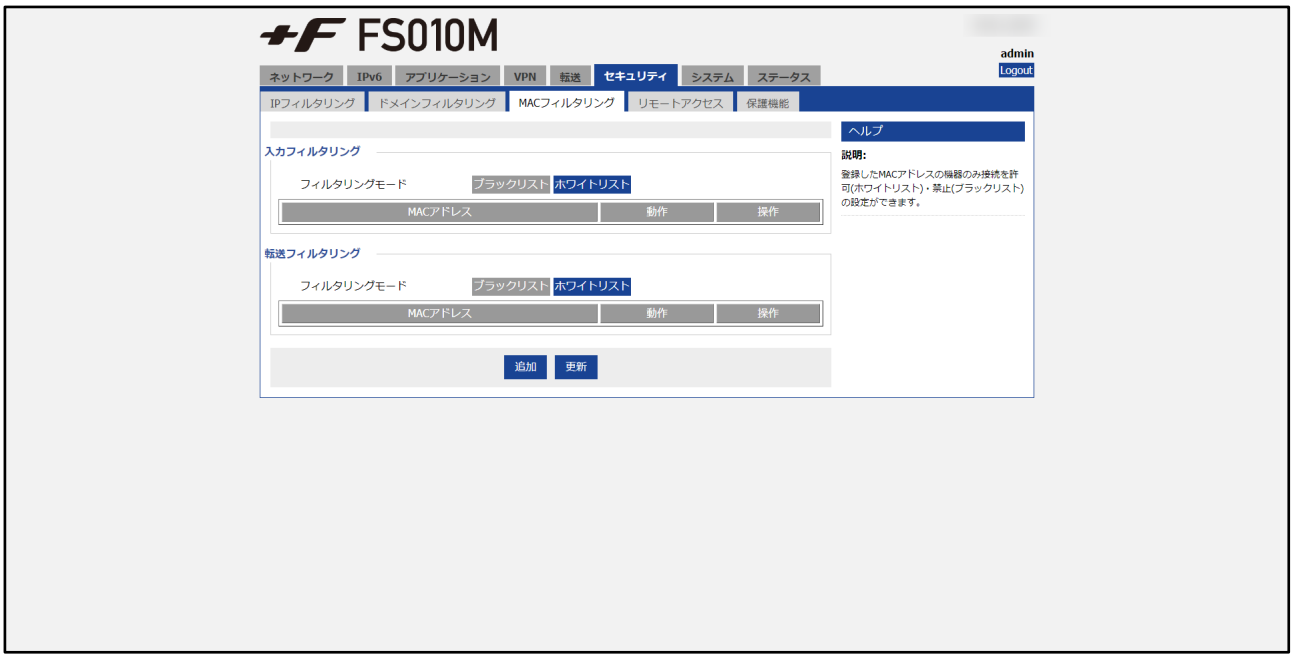



| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| フィルタリングモード | | フィルタリングモードを選択します。 | ブラックリスト | 無効 |
| | | | ホワイトリスト | |
| 基本設定 | ドメイン名 | URL または URL の一部をキーワードとして登録します。 | 半角英数字記号<br>最大 64 文字 | － |
| | フィルタリング動作 | URL フィルタリングリストに追加されたアドレスへのアクセスを許可/禁止します。 | 許可 | 許可 |
| | | | 拒否 | |

## 3.7.1 MAC フィルタリング

画面ナビ セキュリティ ＞ MAC フィルタリング

MAC フィルタリングの設定を行います。
本設定を行うと、追加した MAC アドレスの機器のみ無線接続を「許可」または「拒否」する設定ができます
本設定を「許可」に設定すると指定した機器のみ接続することができます。
「追加」をクリックすると MAC フィルタリングを追加でき、「削除」をクリックすると削除します。




| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 入力フィルタリング | フィルタリングモード | フィルタリングモードを選択します。 | ブラックリスト | ブラックリスト |
| | | | ホワイトリスト | |
| 転送フィルタリング | フィルタリングモード | フィルタリングモードを選択します。 | ブラックリスト | ブラックリスト |
| | | | ホワイトリスト | |
| 基本設定 | MAC アドレス | 接続を許可、または拒否する無線 LAN(WLAN)機器の MAC アドレスを入力します。 | 00:00:00:00:00:00<br>～<br>FF:FF:FF:FF:FF:FF | － |
| | フィルタリング動作 | MAC フィルタリング機能の動作設定を選択します。 | 許可 | 許可 |
| | | | 拒否 | |
| | フィルタリングモード | フィルタリングモードを選択します。 | 入力 | 入力 |
| | | | 転送 | |
| | | | 入力と転送 | |

## 3.7.1　リモートアクセス

画面ナビ　セキュリティ ＞ リモートアクセス

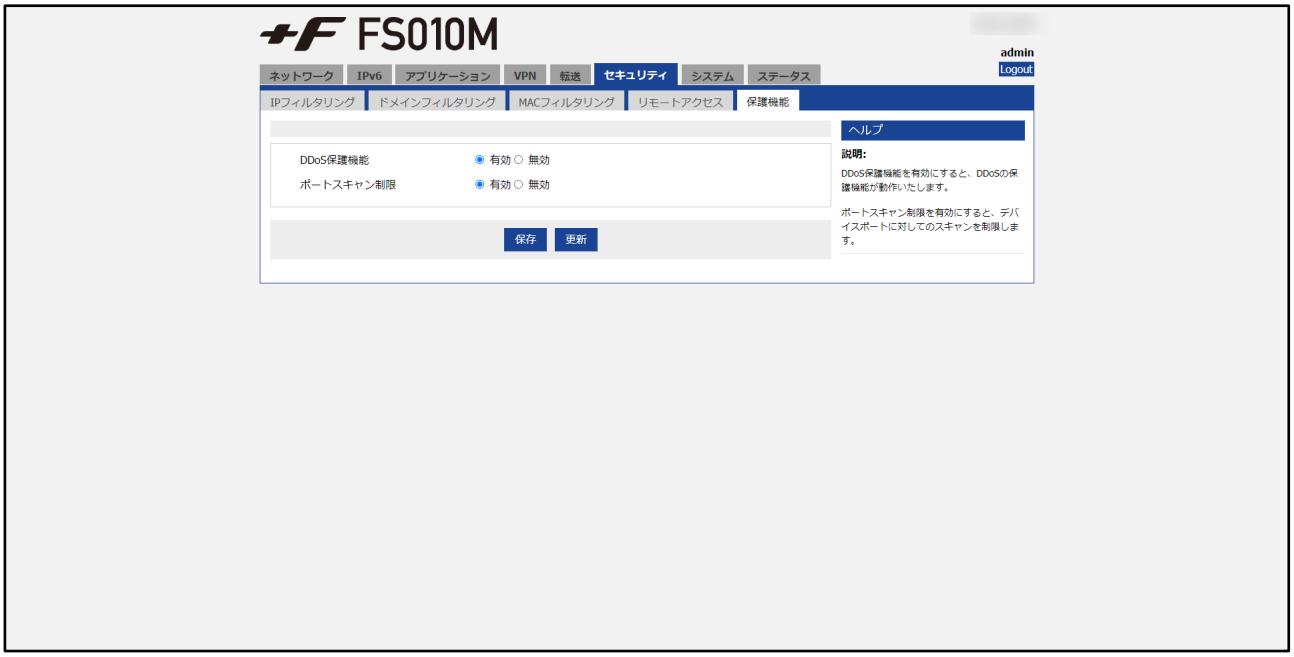
リモートアクセスの設定をします。
設定を有効にすると悪意のあるアクセスを受ける可能性があるので注意してください。
「編集」をクリックするとリモートアクセスの編集ができます。

| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| PING 制御 | インターフェース | 利用するプロトコルを選択します。 | icmp<br>icmp 固定 | icmp |
| | Ping | 外部からの PING に対する応答有無を選択します。 | Open | Open |
| | | | Close | |
| リモートアクセス | インターフェース | インターフェースごとに下記ポートの選択を行います。 | WAN[eth0] | － |
| | | | WAN[pppoe] | |
| | | | WLAN[eth1] | |
| | | | modem<br>モバイル回線 | |
| | SSH | SSH 用ポートの有効/無効を選択します。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |
| | CLI | CLI用ポートの有効/無効を選択します。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |
| | HTTP | HTTP用ポートの有効/無効を選択します。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |
| | HTTPS | HTTPS用ポートの有効/無効を選択します。 | 有効 | 無効 |
| | | | 無効 | |

## 3.7.1 保護機能

画面ナビ セキュリティ ＞ 保護機能

DDoS 攻撃、ポートスキャンに対する保護機能の設定を行います。



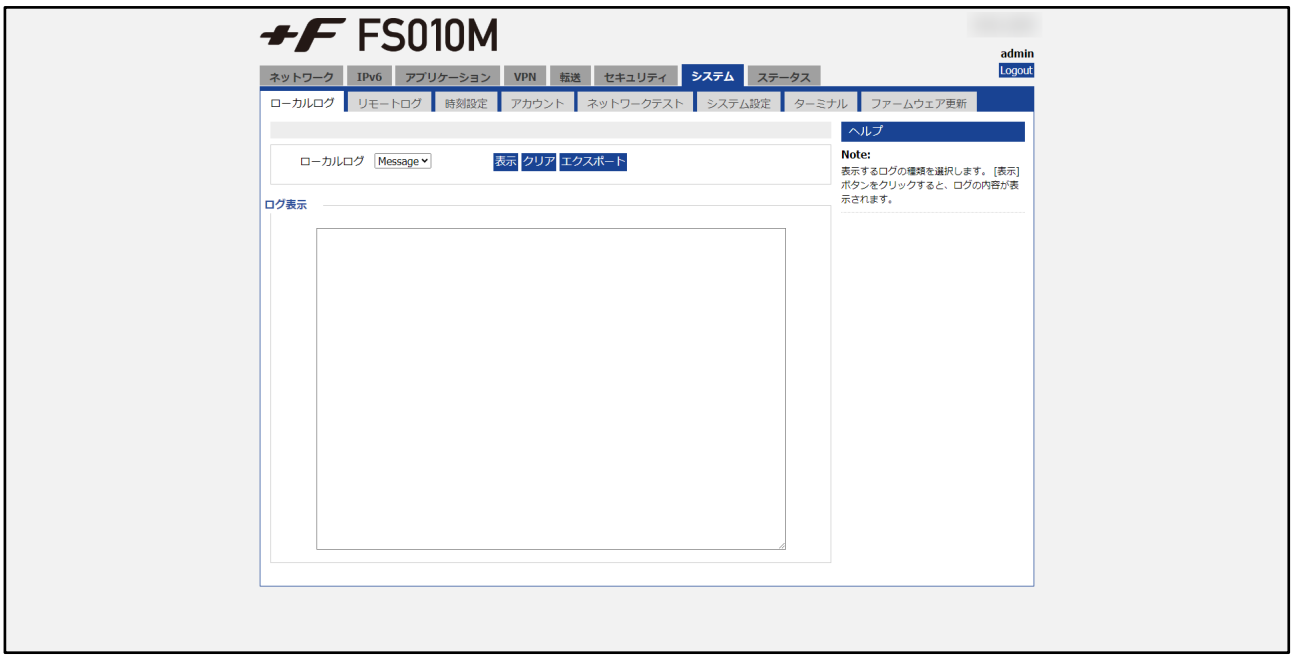

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **DDoS 保護機能** | DDoS 保護機能の有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |
| **ポートスキャン制限** | ポートスキャンの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 有効 |

# 3.8 システム

## 3.8.1　ローカルログ

画面ナビ　システム ＞ ローカルログ

本製品のローカルログを取得することができます。
「表示」をクリックするとログが表示されます。
「クリア」をクリックすると表示したログがクリアされます。
「エクスポート」をクリックするとログファイル(拡張子.txt)を出力することができます。

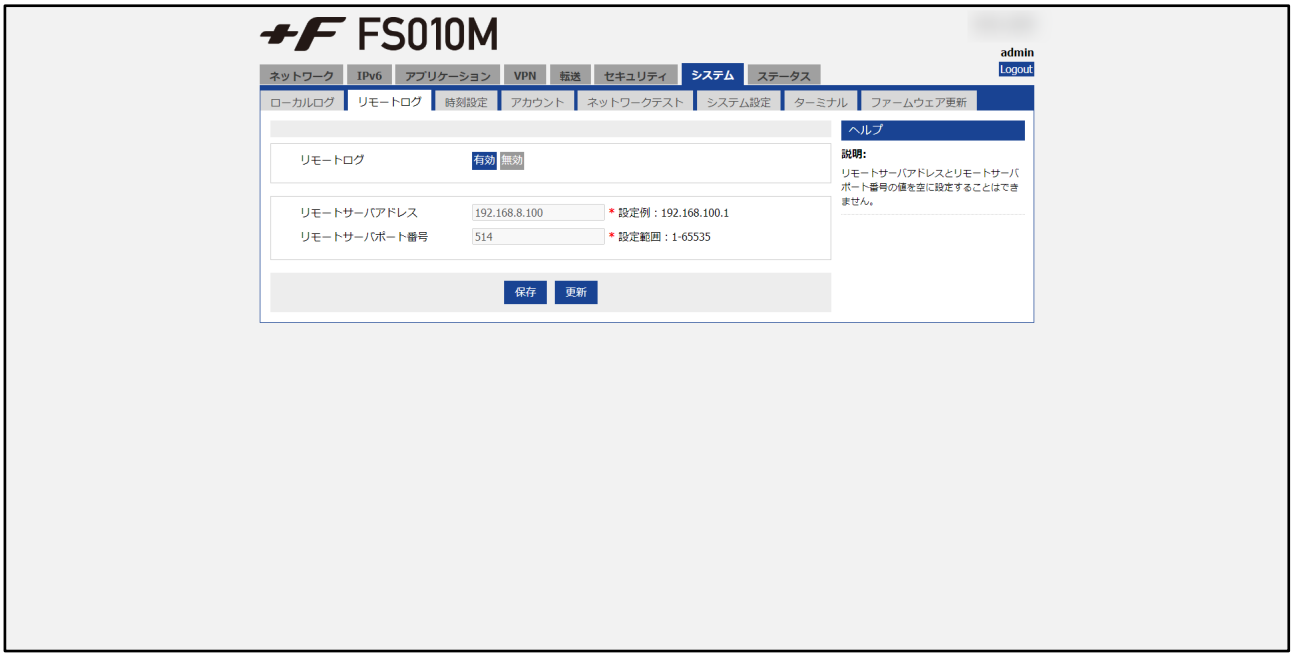



| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| ローカルログ | 取得したいログを選択し、表示ボタンを押すとログ表示欄にログが表示されます。 | Message | Message |
| | | Modem<br>モバイル回線 | |
| | | Kernel | |

## 3.8.2　リモートログ

画面ナビ　システム ＞ リモートログ

設定したリモートサーバーにログを送信する機能です。




| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| リモートログ | リモートログの有効/無効を選択します。 | 有効<br>無効 | 無効 |
| リモートサーバーアドレス | 送信先のリモートサーバーアドレスを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字 | 192.168.100.1 |
| リモートサーバーポート番号 | 送信先のリモートサーバーポート番号を入力します。 | 1～65535 の 4 組の数字 | 514 |

## 3.8.3 時刻設定

画面ナビ　システム ＞ 時刻設定

本製品の時刻設定を行います。

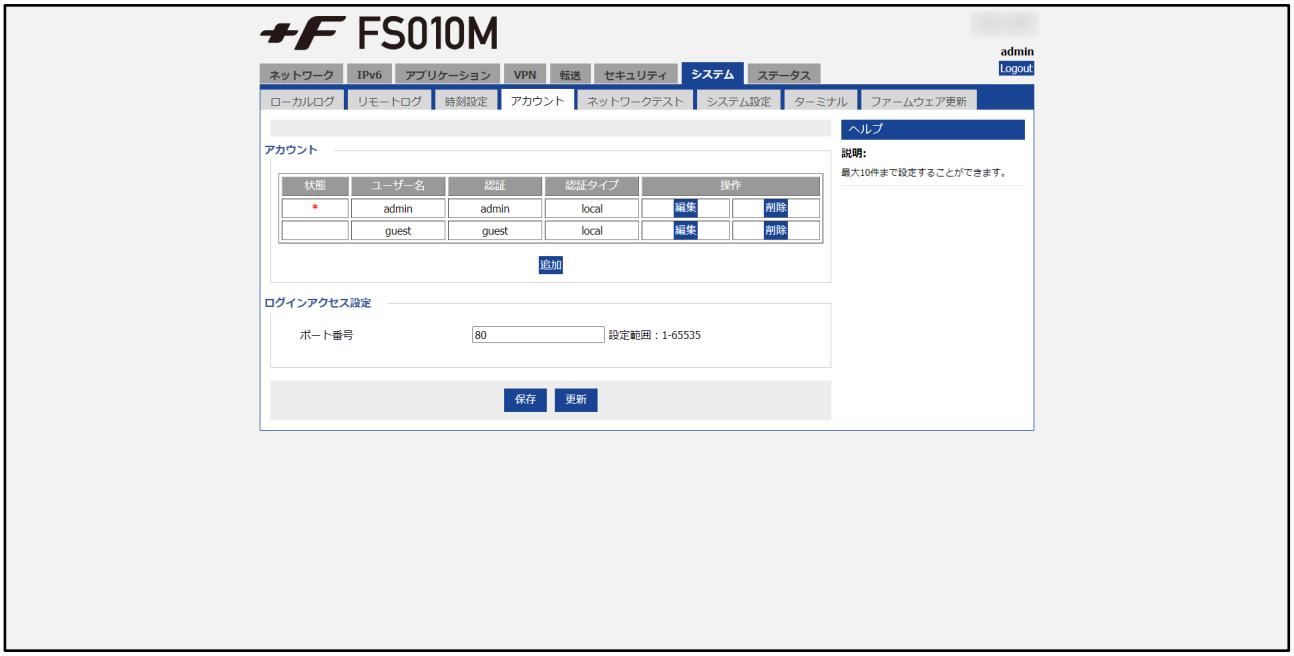
| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **状態** | 状態の有効/無効を選択します。 | 有効 | 有効 |
| | | 無効 | |
| **時刻同期方法** | 時刻の同期方法を選択します。 | ntp | ntp |
| | | 手動 | |
| **送信元インターフェース** | 送信元インターフェースを選択します。 | default | default |
| | | br0 | |
| | | modem<br>モバイル回線 | |
| | | eth0<br>WAN/LAN ポート | |
| **同期状態** | 現在の同期状態を表示します。 | No Sync<br>同期できていません | － |
| | | Sync success<br>同期しています | |
| **NTP サーバーアドレス** | 同期先の NTP サーバーアドレスを選択します。 | ntp.nict.jp | ntp.nict.jp |
| | | pool.ntp.org | |
| | | jp.pool.ntp.org | |
| | | clock.fmt.he.net | |
| | | ntp.sjtu.edu.cn | |
| | | clock.via.net | |

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **NTP サーバー バックアップ** | NTP サーバーにアクセスできない際のバックアップ用の NTP サーバーを入力します。 | ※バックアップ用 ntp サーバーを入力します。 | – |
| **時刻同期間隔** | 時刻同期間隔を入力します。 | 1-65535(秒) | 600 |
| **タイムゾーン** | タイムゾーンを選択します。<br>※(UTC+9:00)Seoul/Tokyo/Osaka の設定でご利用ください。 | ※タイムゾーンを選択します。 | (UTC+9:00)Seoul/Tokyo/Osaka |

## 3.8.4　アカウント

画面ナビ　システム ＞ アカウント

本製品にアクセスするアカウントの設定を行います。
「追加」をクリックするとアカウントを追加できます。
「編集」をクリックすると追加したアカウントを編集でき、「削除」をクリックすると削除します。




| 設定項目 | | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| アカウント | アカウント権限 | アカウント権限を選択します。 | admin<br>管理者権限<br>guest<br>設定変更不可<br>operator<br>アカウント追加不可 | admin |
| | ユーザー名 | 新しいユーザー名を入力します。 | － | － |
| | パスワード | 新しいログインパスワードを入力します。 | － | － |
| | パスワードの確認 | 新しいログインパスワードを確認のため、再入力します。 | － | － |
| ログイン<br>アクセス設定 | ポート番号 | 設定ツールにアクセスするポート番号を入力します。 | 1～65535 | 80 |

## 3.8.5　ネットワークテスト

画面ナビ　システム ＞ ネットワークテスト

送信先アドレスを設定し、疎通確認を行います。
「開始」をクリックすると疎通確認を開始します。

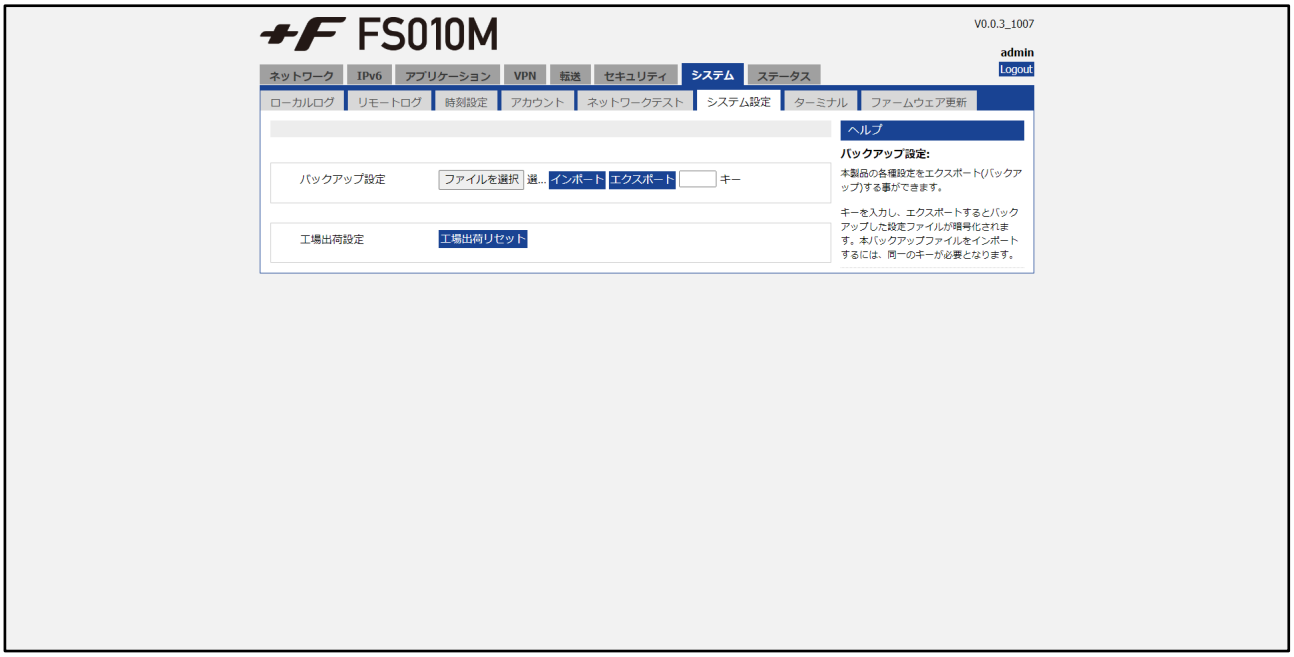
| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| テストコマンド | 疎通確認を行うコマンドを選択します。 | Ping<br>Trace<br>Ping6<br>Trace6<br>MTR | Ping |
| 送信先 IP アドレス | 送信先アドレスを入力します。 | 0～255 の 4 組の数字<br>※Ping、Trace、MTR の場合<br>または<br>0000 ～ ffff の 8 組の英数字(16 進数)<br>※Ping6、Trace6 の場合 | － |
| パケットサイズ | 送信するパケットサイズを入力します。<br>※ping/ping6/MTR 選択時に表示されます。 | 1～65507、<br>1～65526<br>※Ping、Ping6 の場合<br>または<br>1～1500<br>※MTR の場合 | － |
| 断片化無効 | 断片化(フラグメント)の選択をします。<br>※Ping 選択時に表示されます。 | 設定<br>チェックボックスをチェック<br>未設定<br>チェックボックスを未チェック | － |

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **名前解決** | DNSの名前解決を行うか選択をします。<br>※MTR 選択時に表示されます。 | 設定<br>チェックボックスをチェック | ー |
| | | 未設定<br>チェックボックスを未チェック | |
| **結果** | コマンドの実行結果が表示されます。 | ー | ー |

## 3.8.6　システム設定

画面ナビ　システム ＞ システム設定

本製品に設定した情報の保存、復元と、初期化を行います。を行います。

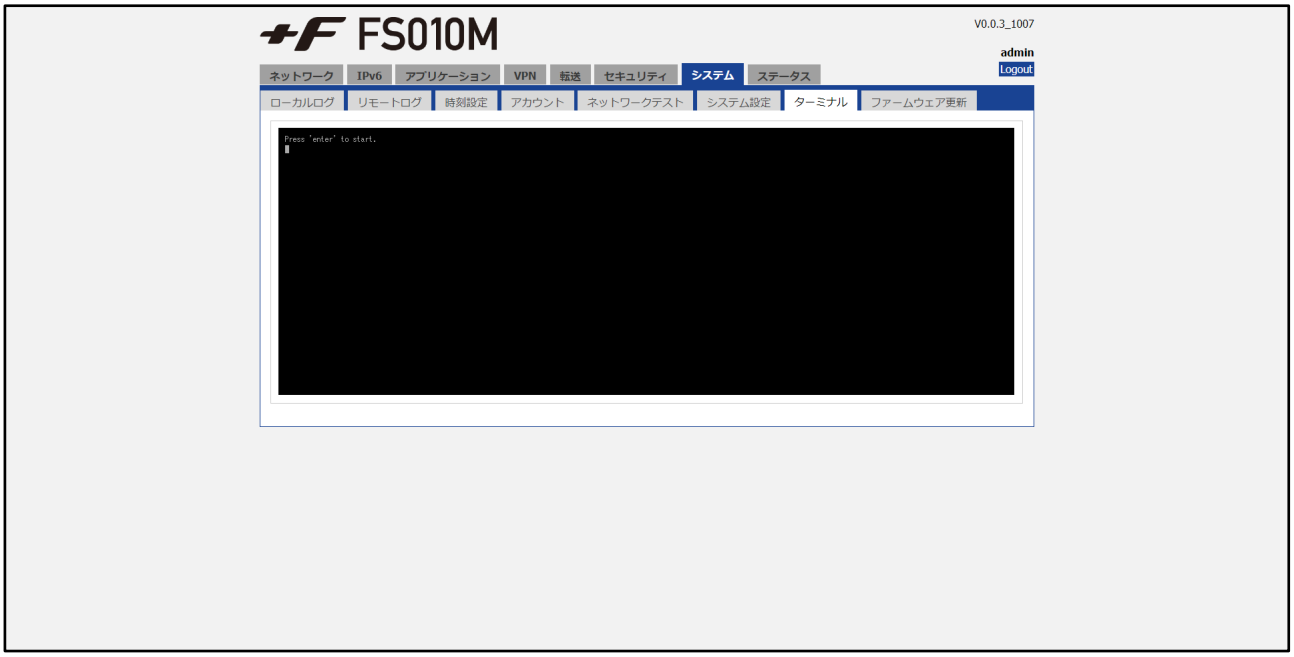



| 設定項目 | 説明 | 設定値 |
|---|---|---|
| **バックアップ設定** | 「ファイルを選択」からエクスポートしたファイルを選択することで、設定情報をインポートします。 | インポート |
| | 本製品の設定情報をエクスポートします。<br>※キーを入力してエクスポートすると設定ファイルが暗号化されます。<br>インポート時に同じキーを入力する必要があります。 | エクスポート |
| **工場出荷設定** | 本製品の設定値がすべて初期状態に戻ります。 | 工場出荷リセット |

## 3.8.7　ターミナル

画面ナビ　システム ＞ ターミナル

本製品に対してコマンドラインから、設定または状態を確認することができます。



## 3.8.8　ファームウェア更新

画面ナビ　システム ＞ ファームウェア更新

ファームウェアの更新を行います。

### ■ オフラインアップデート

オフラインでアップデートを行います。

1. +F FS010M 製品ページからアップデートファイルを取得します。
2. 「ファイルの選択」をクリックします。
3. パソコンに保存されているアップデートファイルを選択します。
4. 「アップデート」をクリックすると、本製品のアップデートが開始されます。
   ※リセットにチェックつけると、アップグレードと同時に「工場出荷リセット」されます。

### ■ オンラインアップデート

メイン回線（モバイル回線／無線 LAN（WLAN）／有線 LAN）を使いオンラインアップデートを行います。
※メイン回線の設定は「3.2.5 回線選択」をご参照ください。

1. 「アップデートの確認」をクリックします。
   最新のファイルがある場合は、「アップデート」ボタンが表示されます。
2. 「アップデート」ボタンをクリックすると、本製品のアップデートが開始されます。

## ■ 自動更新

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| **自動更新** | 自動更新の有効/無効を選択します。<br>最新のファームウェアがある場合、<br>自動でアップデートが始まります。 | 無効 | 無効 |
| | | 有効 | |
| **スケジュール設定** | 自動アップデートするタイミングを選択します。<br>※自動更新「有効」選択時に表示されます。 | 電源 ON のみ | − |
| | | custom | |
| **周期設定** | 周期設定を入力します。<br>※スケジュール設定「custom」選択時に表示されます。 | 1～30(日) | − |
| **時刻** | 時刻を入力します。<br>※スケジュール設定「custom」選択時に表示されます。 | 00:00 ～ 23:59 | − |

# 3.9 ステータス

## 3.9.1 基本情報

画面ナビ ステータス ＞ 基本情報

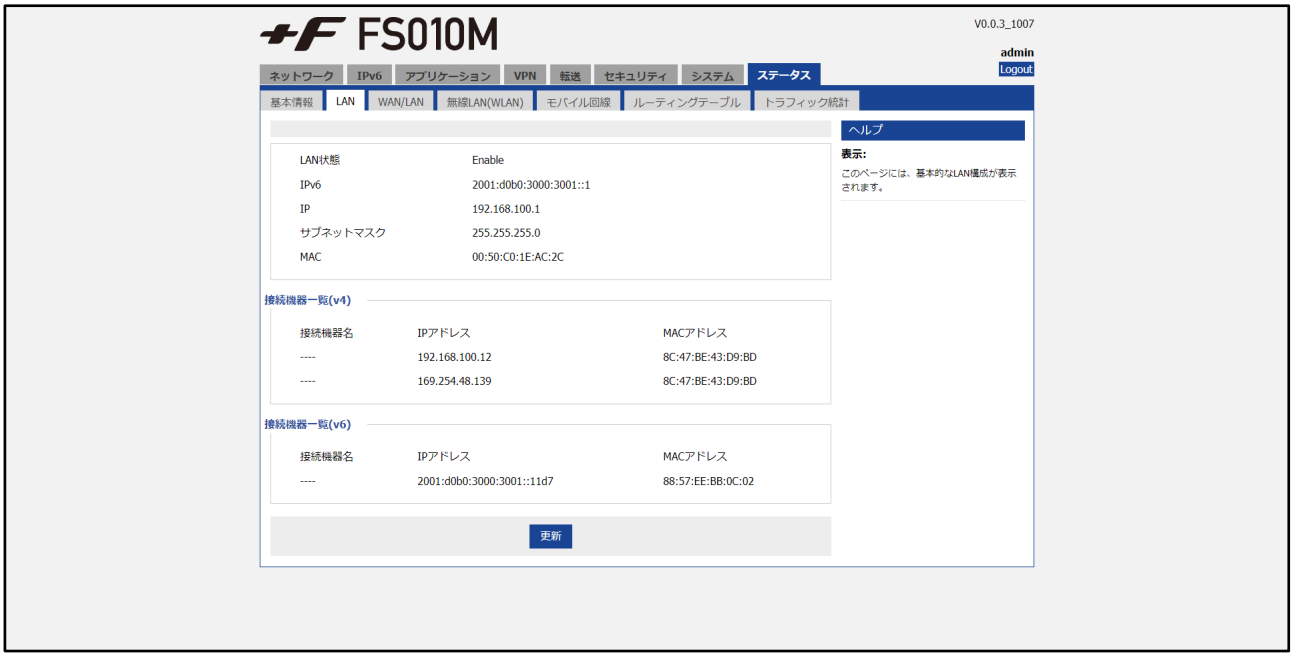
デバイス SN、ハードウェアバージョン、ソフトウェアバージョン、接続時間が確認できます。

| 設定項目 | 説明 |
|---|---|
| デバイス SN | 本製品のデバイス SN を表示します。 |
| ハードウェアバージョン | 本製品のハードウェアバージョンを表示します。 |
| ソフトウェアバージョン | 本製品のソフトウェアバージョンを表示します。 |
| 接続時間 | 電源を ON にしてからネットワーク接続累積時間を表示します。 |

## 3.9.2 LAN

画面ナビ　ステータス ＞ LAN

LAN ポートの設定、接続機器などの情報が確認できます。

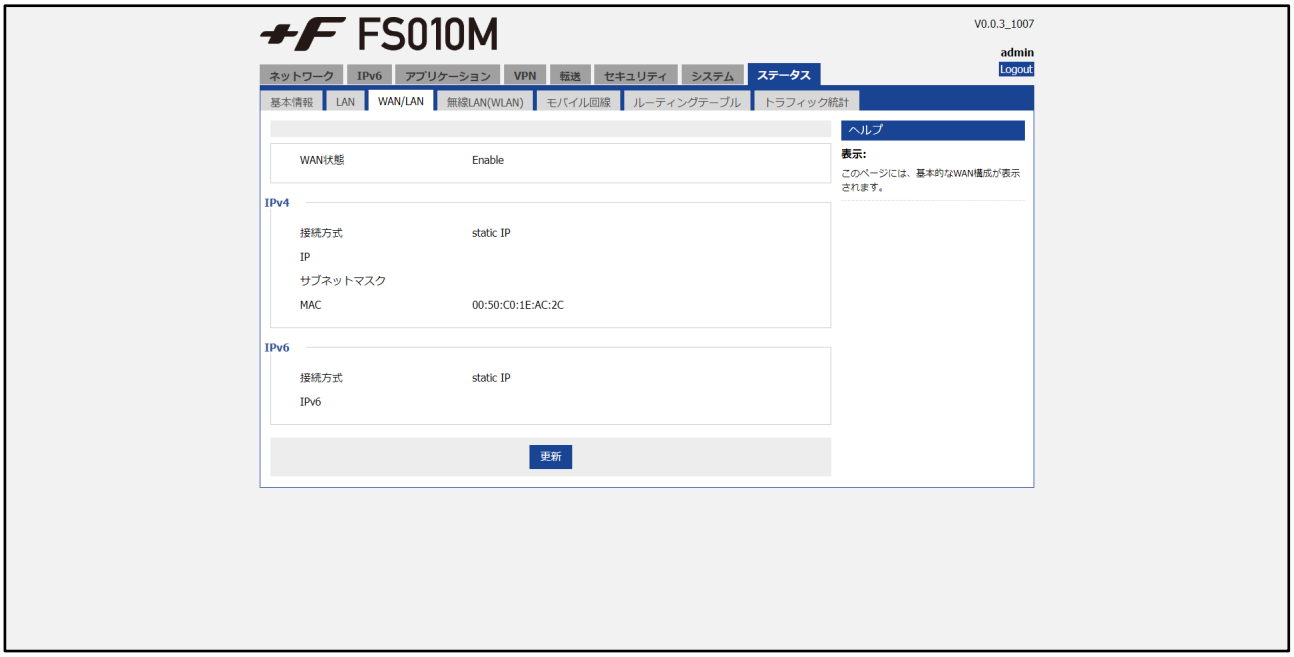



| 設定項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| LAN 状態 | | LAN ポートの状態を表示します。 |
| IPv6 | | 本製品にアクセスするための IPv6 アドレスを表示します。 |
| IP | | 本製品にアクセスするための IP アドレスを表示します。 |
| サブネットマスク | | サブネットマスクを表示します。 |
| MAC | | LAN ポートの MAC アドレスを表示します。 |
| 接続機器一覧(v4) | 接続機器名 | 接続機器名を表示します。 |
| | IP アドレス | 接続機器に割り当てた IP アドレスを表示します。 |
| | MAC アドレス | 接続機器の MAC アドレスを表示します。 |
| 接続機器一覧(v6) | 接続機器名 | 接続機器名を表示します。 |
| | IP アドレス | 接続機器に割り当てた IPv6 アドレスを表示します。 |
| | MAC アドレス | 接続機器の MAC アドレスを表示します。 |

## 3.9.3 WAN/LAN

画面ナビ ステータス＞ WAN/LAN

WAN/LAN ポートの設定、接続機器などの情報が確認できます。

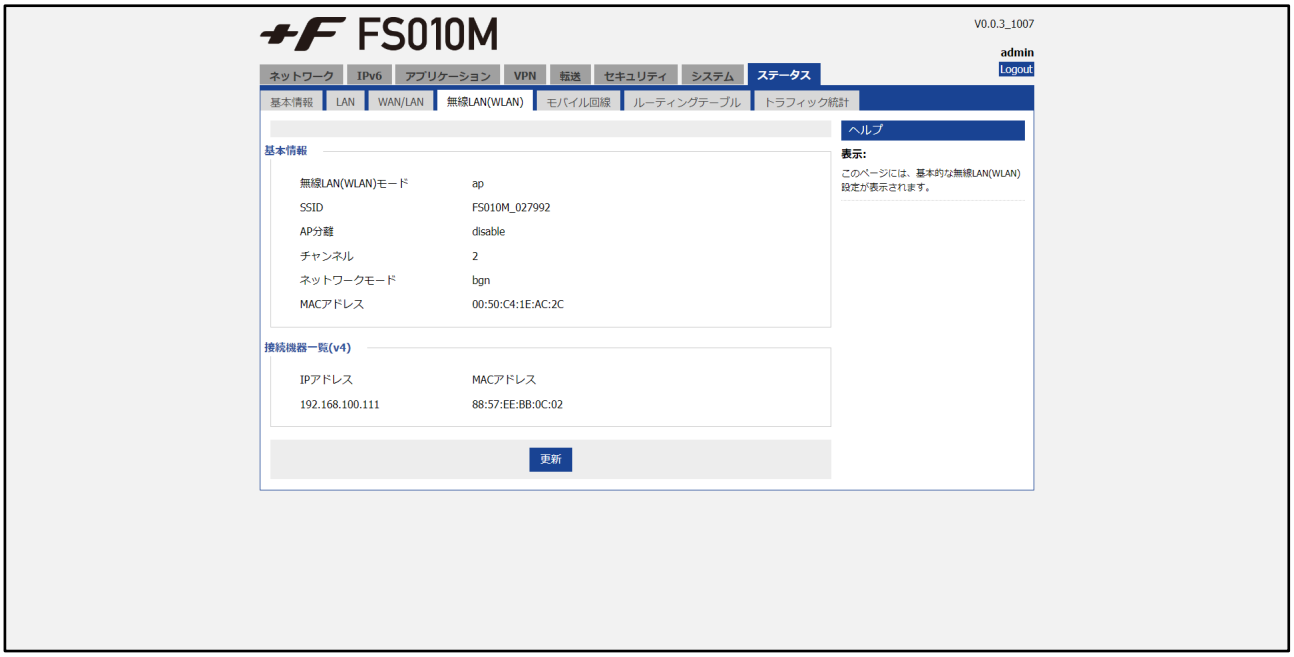



| 設定項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| **WAN 状態** | | WAN/LAN ポートの WAN 状態を表示します。 |
| **IPv4** | **接続方式** | WAN/LAN ポートの動作状態を表示します。 |
| | **IP** | WAN/LAN ポートの WAN 側に割り当てられた IP アドレスを表示します。 |
| | **サブネットマスク** | WAN/LAN ポートの WAN 側に割り当てられたサブネットマスクを表示します。 |
| | **MAC** | WAN/LAN ポートの MAC アドレスを表示します。 |
| **IPv6** | **接続方式** | WAN/LAN ポートの動作状態を表示します。 |
| | **IPv6** | WAN/LAN ポートの WAN 側に割り当てられた IPv6 アドレスを表示します。 |

## 3.9.4　無線 LAN(WLAN)

画面ナビ　ステータス ＞ 無線 LAN(WLAN)

無線 LAN(WLAN)の設定、接続機器などの情報が確認できます。

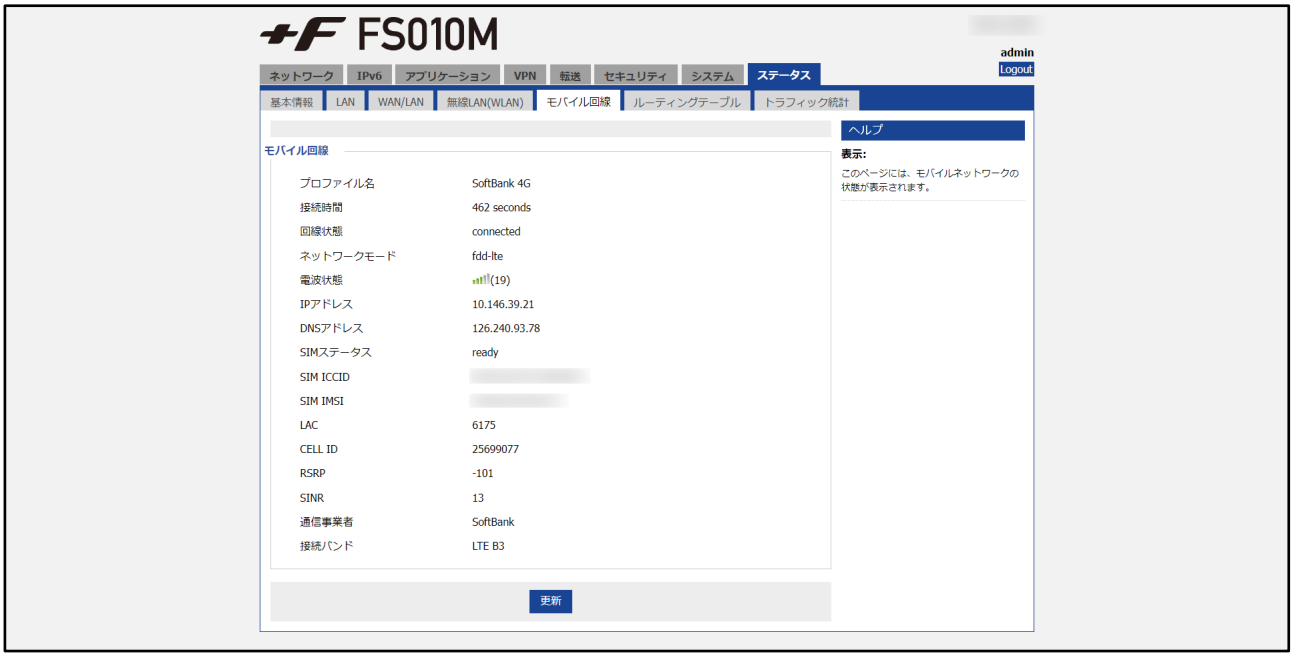



| 設定項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| 基本情報 | 無線 LAN(WLAN)モード | 無線 LAN(WLAN)の動作モードを表示します。 |
| | SSID | SSID を表示します。 |
| | AP 分離 | AP 分離の状態を表示します。 |
| | チャンネル | 動作中の無線 LAN(WLAN)チャンネルを表示します。 |
| | ネットワークモード | 無線 LAN(WLAN)の通信方式を表示します。 |
| | MAC アドレス | 本製品の無線 LAN(WLAN)の MAC アドレスを表示します。 |
| 接続機器一覧(v4) | IP アドレス | 接続機器に割り当てた IP アドレスを表示します。 |
| | MAC アドレス | 接続機器の MAC アドレスを表示します。 |

## 3.9.5　モバイル回線

画面ナビ　ステータス ＞ モバイル回線

モバイル回線の接続状態、接続されたネットワークなどの情報が確認できます。

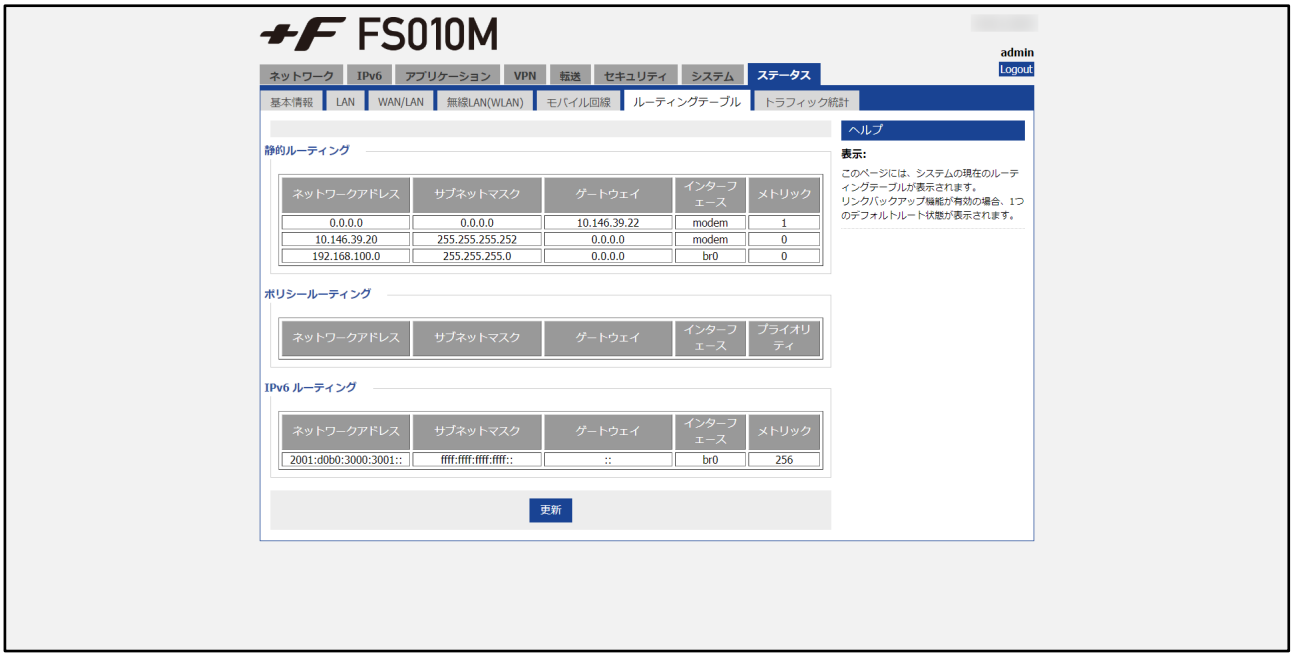



| 設定項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| モバイル回線 | プロファイル名 | 選択したプロファイル名が表示されます。 |
| | 接続時間 | モバイル回線の接続時間が表示されます。 |
| | 回線状態 | モバイル回線の接続状態を表示します。 |
| | ネットワークモード | 通信方式が表示されます。 |
| | 電波状態 | 電波の信号強度(1-31)を表示します。 |
| | IPアドレス | モバイル回線で割り当てられた IP アドレスを表示します。 |
| | DNSアドレス | モバイル回線で割り当てられた DNS アドレスを表示します。 |
| | SIMステータス | SIM カードの状態を表示します。 |
| | SIM ICCID | SIM カードの ICCID を表示します。 |
| | SIM IMSI | SIM カードの IMSI を表示します。 |
| | LAC | 基地局の LAC(Location Area Code)を表示します。 |
| | CELL ID | 基地局のセル ID(Cell ID)を表示します。 |
| | RSRP | 接続している RSRP を表示します。 |
| | SINR | 接続している RSRP を表示します。 |
| | 通信事業者 | 接続先の通信事業者名を表示します。 |
| | 接続バンド | 接続しているバンドを表示します。 |

## 3.9.6　ルーティングテーブル

画面ナビ　ステータス ＞ ルーティングテーブル

本製品に設定されたルーティングテーブルの情報が確認できます。

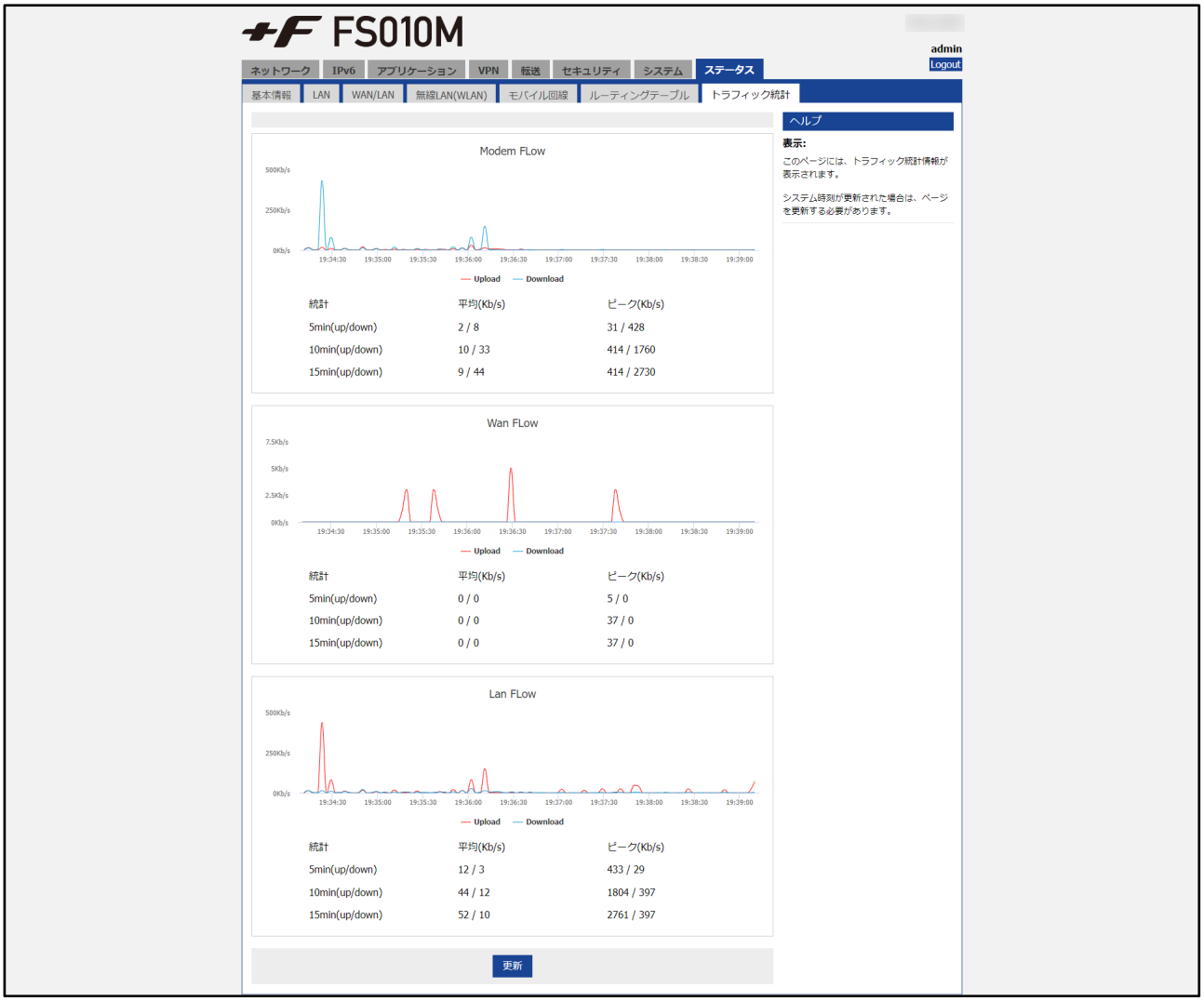



| 設定項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| 静的<br>ルーティング | ネットワーク<br>アドレス | ネットワークアドレスを入力します。 |
| | サブネットマスク | サブネットマスクが表示されます。 |
| | ゲートウェイ | 転送先(Next hop)のアドレスを表示します。 |
| | インターフェース | 転送先アドレスへの出力インターフェースを表示します。 |
| | メトリック | メトリック値を表示します。 |
| ポリシー<br>ルーティング | ネットワーク<br>アドレス | ネットワークアドレスを入力します。 |
| | サブネットマスク | サブネットマスクの IP アドレスを表示します。 |
| | ゲートウェイ | ゲートウェイの IP アドレスを表示します。 |
| | インターフェース | インターフェースを表示します。 |
| | プライオリティ | 優先順位を表示します。 |
| IPv6<br>ルーティング | ネットワーク<br>アドレス | IPv6 の宛先ルートを表示します。 |
| | サブネットマスク | IPv6 のサブネットマスクが表示されます。 |
| | ゲートウェイ | IPv6 の転送先(Next hop)のアドレスを表示します。 |
| | インターフェース | IPv6 の転送先アドレスへの出力インターフェースを表示します。 |
| | メトリック | メトリック値を表示します。 |

## 3.9.7　トラフィック統計

画面ナビ　ステータス ＞ トラフィック統計

本製品のモバイル回線、WAN、LAN 側の通信トラフィックが確認できます。



# 4章 困ったときに

本製品が正常に動作しない場合は、以下の内容またはホームページの FAQ(こちら)を確認してください。
確認しても動作しない場合は、「法人向けモバイル端末サポートデスク」までお問い合わせください。

## 4.1 本製品と無線 LAN(WLAN)機器が接続できない

- 無線 LAN(WLAN)アンテナが正しく取り付けられているかご確認ください。
  ※無線 LAN(WLAN)アンテナはオプションです。
  本書の「1.4.2 アンテナの取り付け方」をご参照ください。
- 本製品に設定されている無線 LAN(WLAN)のセキュリティ設定に、ご使用の無線 LAN(WLAN)機器側が対応していない可能性があります。ご使用の無線 LAN(WLAN)機器が対応している認証方式に本製品の設定を変更してください。ご使用の無線 LAN(WLAN)機器の仕様については、ご使用の無線 LAN(WLAN)機器の取扱説明書をご参照ください。
- 無線 LAN(WLAN)のパスワードの入力が間違っていないかをお確かめください。

## 4.2 インターネットへの接続ができない

- サービスエリア内であることをご確認ください。
- 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで再度ご確認ください。
- +F FS010M 設定ツールから、プロファイル設定などのネットワーク関連の設定が正しくされていることをご確認ください。本書の「3.2.4 モバイル回線」をご参照ください。
- SIM カードが正しい向きで挿入されていることをご確認ください。
  本書の「1.2 SIM カードの取り付け方/取り外し方」をご参照ください。

## 4.3 通信が切れやすい

- 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで再度ご確認ください。
- 本製品の電源を一度 OFF にしてから、再度電源を ON にしてください。

# 5章 付録

## 5.1 主な仕様

### ■ +F FS010M

| | |
|---|---|
| 製品名 | +F FS010M |
| サイズ(W × H × D) | 約 98.8mm x 23.4mm x 99.7mm |
| 質量 | 約 300g |
| インターフェース | WAN/LAN ポート×1、LAN ポート×1, DC Input×1,<br>WLAN アンテナ×1、4G アンテナ×2、SIM スロット×1 |
| 環境条件 | 動作温度範囲 : -20～ 60℃<br>動作湿度範囲 : 5 ～ 95%(結露なきこと)<br>保管温度範囲 : -30 ～ 70℃<br>保管湿度範囲 : 5 ～ 95%(結露なきこと) |
| 対応バンド(周波数) | 4G : B1(2.1GHz)、B3(1.7GHz)、<br>B8(900MHz)、B18(800MHz)、<br>B19(800MHz)、B26(850MHz)<br>B39(1.9GHz)、B41(2.5GHz)<br><br>3G : B1(2.1GHz)、B6(800MHz)、<br>B8(900MHz)、B19(800MHz) |
| 通信方式/通信速度 | 無線 LAN (WLAN) : IEEE802.11b／11Mbps<br>IEEE802.11g／54Mbps<br>IEEE802.11n(Wi-Fi 4)／150Mbps<br>2.4GHz 帯<br><br>WAN/LAN : 10/100Mbps 全二重、半二重、自動識別<br>ご利用の通信方式や地域によって、最大通信速度が異なります。<br>また、ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下したり、通信できなくなったりする場合があります。 |
| 無線 LAN(WLAN) 同時接続数 | 32 台 |

# 5.2 保証規定

**保証期間:1 年間**

ご購入日を証明するもの(レシート・納品書等)を大切に保管してください。修理の際に必要となります。

[無料修理規定]

1. 取扱説明書に記載されている使用方法や注意書きに従った正常なご使用のもとで保証期間中に故障や損傷した場合には、本規定に従い、無料修理させて頂きます。
   ただし、診断により代替品と交換させていただく場合がございます。
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となります。予めご了承ください。
   (1) 故障した本製品をご提出いただかない場合。
   (2) ご購入日を証明するもの(レシート・納品書等)が無い場合。
   (3) 保証規定の字句を書き換えられた場合。
   (4) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造による故障及び損傷。
   (5) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
   (6) 本製品を落下又は外部からの圧迫などによる故障及び損傷。
   (7) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、異常電圧などの原因による故障及び損傷。
   (8) 水濡れ・結露等による腐食が発見された場合および内部の基板が破損・変形している場合。
   (9) 付属品(4G アンテナ、AC アダプタ、LAN ケーブル、取り付け金具、取り付けネジ、無線 LAN(WLAN)アンテナ)などの消耗品の交換。
   (10) ラベルの改変および取り外している場合。
   (11) 当社純正ではない付属品をお使いになり故障した場合。
3. 「故障品送付先」へご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、当社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
4. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
5. 本製品を指定外の機器と接続した場合、万一発生する事項については責任を負いかねます。
6. 本製品の損傷状況によっては修理を承れない場合がございます。
7. 修理受付時はデータのお預かりはできません。必要なデータはあらかじめ保存をしてください。
8. 保証規定は日本国内において有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
9. 修理により交換した交換元部品の所有権は、有償修理、無償修理問わず、当社に帰属します。

■ お問い合わせページ
https://fsi-plusf.jp/inquiry/
(土日祝日、夏季休暇及び年末年始除く)

■ 故障品送付先
〒135-0032 東京都江東区福住 1-8-7 門前仲町ビル 1F
富士ソフト モバイル端末 故障受付窓口

## 5.3 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。
本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

## 5.4 知的財産権

※ Windows、Windows11、Windows10 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標、または登録商標です。
※ macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
※ iOS は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc.の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
※ Android および Chrome OS は、Google LLC.の商標、または登録商標です。
※ Wi-Fi、WPA/WPA2 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
※ その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 5.5 オープンソースライセンスの告知

本製品は GNU General Public License(Version2)など、各種ライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアを使用しています。詳細は下記のホームページをご参照ください。
https://fsi-plusf.jp/
本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのソースコードをご希望の場合は、ホームページからお問い合わせください。
https://fsi-plusf.jp/products/FS010M

・ 本書の内容は一部でも無断転載することは禁止されております。
・ 本書の内容は将来、予告なしに変更することがあります。
・ コピー、改造、逆アセンブル、リバースエンジニアリング、輸出許可がない地域への輸出を行わないでください。
本製品に含まれる第三者ソフトウェア(「COPYRIGHT NOTICE AND WARRANTY DISCLAIMER」に記載するソフトウェア)の利用許諾条件と齟齬がある場合、当該利用許諾条件が優先されるものとします。

**+F FS010M 取扱説明書**
販売元　富士ソフト株式会社
発行年月　2025 年 4 月 第 4 版

Copyright@2023 FUJISOFT INCORPORATED, All rights reserved.